



Adventure Travel World Summit Virtual Hokkaido, JAPAN

報告書

令和4年（2022年）5月 24日
アドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道実行委員会

目次

1. Adventure Travel World Summit 2021 Hokkaido, JAPAN
2. ATWS VIRTUAL Hokkaido, JAPAN 概要
3. ATWS VIRTUAL Hokkaido, JAPAN アジェンダ
4. 記者公開及びHPについて
5. ATWS VIRTUAL Hokkaido, JAPAN 総括
6. ATWS2023成功に向けて

1. Adventure Travel World Summit 2021 Hokkaido, JAPAN

ATWS2021 Hokkaido, JAPAN

ATWS北海道／日本について

- ・ 日 程 令和3年(2021年)9月20日(月)～23日(木)
- ・ 主会場 札幌市内 (札幌コンベンションセンター)
- ・ 参加者 各国の旅行会社、メディア、政府観光局 等
※2019年大会は約60カ国800人が参加

開催イメージ

	内 容
大会前	Pre Summit Adventure (道内・道外) (4泊程度の体験ツアー (任意))
1日目	Day of Adventure (全員参加の日帰りAT体験ツアー)
2日目	オープニングセレモニー、各種講演、ワークショップ、 市内見学・体験ツアー 等
3日目	マーケットプレイス (商談会)、各種講演、市内見学 等
4日目	メディアコネクト (商談)、クロージングセレモニー 等
大会後	Post Summit Adventure (完全招待客のうち最大40名の招聘ツアー)

過去の開催実績

2016	アンカレッジ (米)
2017	サルタ (アルゼンチン)
2018	トスカーナ (伊)
2019	ヨーテボリ (スウェーデン)
2020	アデレード (豪) ※中止
2021	北海道

ATWS2021 Hokkaido, JAPAN

北海道大会で実施を予定していたツアーの例

PSA (22本)

- 日本最北の地を目指して 上川・宗谷カヌーとサイクリング (難易度 3)
- 大雪山周遊～ガイド付き登山ツアー (難易度 4)
- 東北の東西食の巡礼：歩く・食べる・出会う旅 (難易度 3)
- 訪れるべき四国を代表する海と山と川を E バイクで巡る旅 (難易度 3)



DOA (29本)

- 東川ディスカバリー：日帰りガイド付きサイクリングツアー (難易度 2)
- ニセコアンヌプリ：サイクリング&トレッキング (難易度 3)
- 天上の湿原 雨竜沼湿原秘境トレッキング (難易度 3)
- 都会の近くで発見！ウトナイ湖の大自然満喫ツアー (難易度 2)



ATWS2021 Hokkaido, JAPAN

ADVENTURE TRAVEL TRADE ASSOCIATION ABOUT US NEWS SERVICES EVENTS LEARN MEMBERSHIP Subscribe Join

20-24 Sep 2021
Virtual - Online
Price: \$349 USD
Business Member Price: \$299 USD
Marketing: \$750 USD

ADVENTURE TRAVEL
WORLD SUMMIT
VIRTUAL
HOKKAIDO, JAPAN
20-24 SEPTEMBER 2021

HOME FAQ SUSTAINABILITY REGISTER

REBIRTH, REBUILDING, A REASON FOR BEING...

It is time for our global community to gather again – and for 2021 we are officially announcing the Adventure Travel World Summit will be held **VIRTUALLY**. By having a Virtual Summit we can accommodate all our adventure travel communities to come together in a safe, affordable, and productive environment. The Virtual Summit will be hosted by Hokkaido, Japan on 20-24 September 2021 (dates shift slightly depending on your time zone). The event will include: inspirational speakers, virtual adventures from Japan, B2B networking, interactive expert-led sessions, and an opportunity for our community to gather globally.

The past year, while undeniably challenging, has also offered us an opportunity to gain surprising insights about our industry, and refreshing innovation and ideas to pursue our mission of building the adventure travel category in tourism. Among the actionable insights we're bringing from a year of virtual events to our first ever Virtual Adventure Travel World Summit include:

- Global participation and connections among people who share core values
- Innovative ways to explore our natural curiosity in adventure travel
- Unlimited opportunities to include new audiences and cultures

We look forward to unveiling a whole new approach to the Summit. We invite you to join the ATTA community for the first Virtual Summit and the first Adventure Travel World Summit in Asia as we celebrate a reason for being!

参考 : ATTA HP(<https://www.adventuretravel.biz/events/summit/japan-2021/>)

アドベンチャートラベル・ワールドサミット(ATWS)2021北海道について、主催者であるアドベンチャートラベル・トレードアソシエーション(ATTA)から「バーチャル開催」とするとの公式発表(2021年5月6日)

1. 開催方法

バーチャル開催

2. 開催期間

令和3年(2021年)9月20日(月)～9月24日(金)

3. 主な内容(予定)

基調講演

バーチャルアドベンチャー

(日本のAT素材の動画配信)

B to B ネットワーキング

(商談会)

コミュニティラウンドテーブル

(意見交換会) ほか

2. ATWS VIRTUAL Hokkaido, JAPAN概要

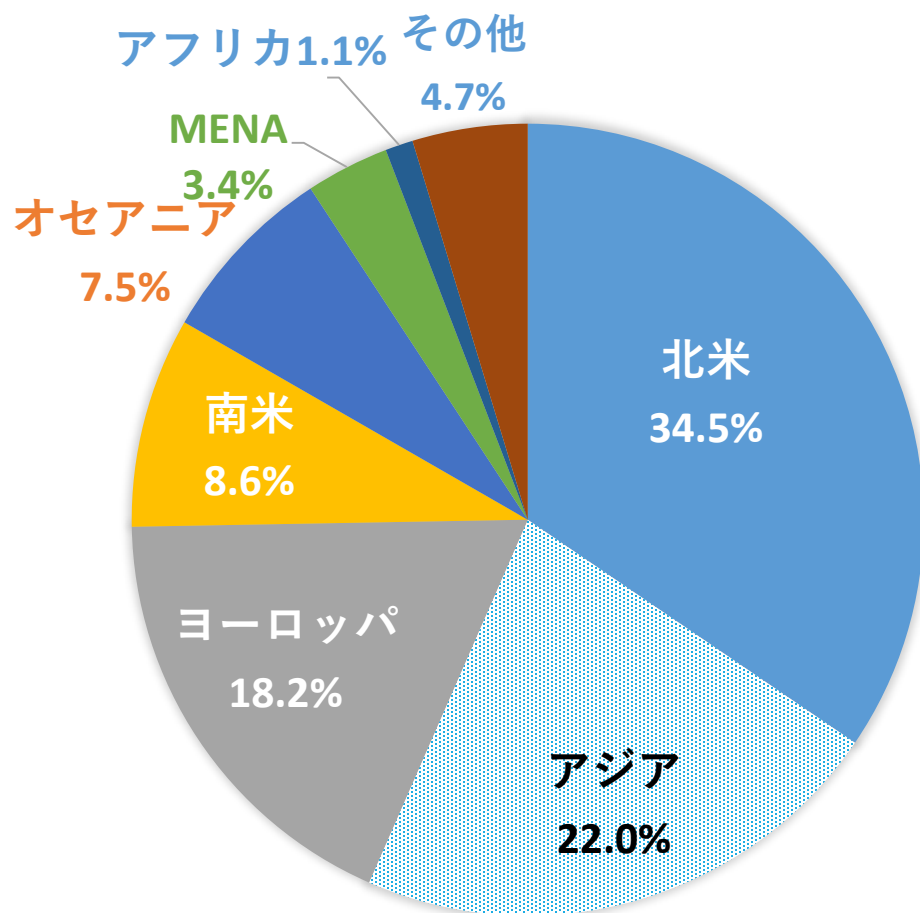
ATWS VIRTUAL Hokkaido, JAPAN 概要

主催者	アドベンチャートラベル・トレードアソシエーション（ATTA）
参加者	欧米豪を中心に58ヶ国から旅行会社・メディアなど617名の事業者等が参加
期間	9/20～9/24 ＊北米、欧州及び日本の時差を考慮し、全4日間のプログラムを翌日に再放送する。
内容	Virtual Event Platform “Eventtia”によるオンライン開催。オープニングセレモニー、開催ホストである国土交通大臣・北海道知事挨拶、日本のアドベンチャーコースの紹介、各種講演、分科会、商談会、北海道の魅力を紹介する北海道アドベンチャー等をオンラインにより実施。
テーマ	共生 Kyosei
MC	高田健右氏 （日本アドベンチャーツーリズム協議会事務局）
参加費	349USD（Business Member Price:299USD） Marketplace750USD
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティング予約件数：2050セッション ・合計ウェブ閲覧数：9021ページ



ATWS VIRTUAL Hokkaido, JAPAN 参加者

参加者のエリア内訳



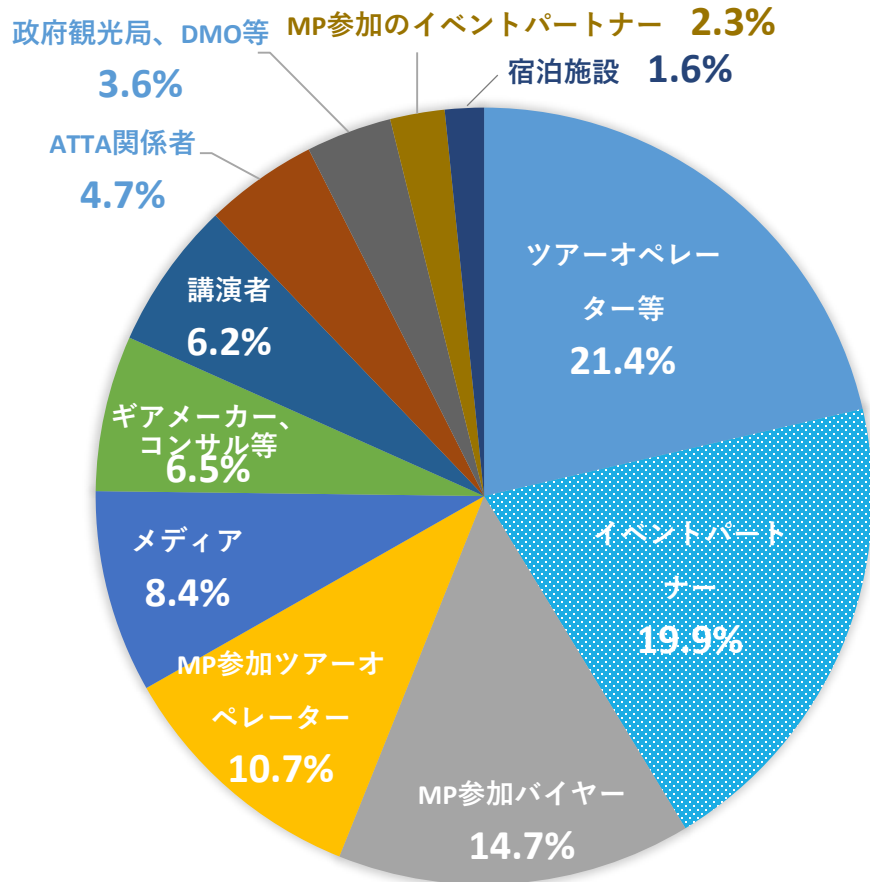
n=617 (単位：人)

北米	213
アジア	136
ヨーロッパ	112
南米	53
オセアニア	46
MENA	21
アフリカ	7
その他	29

ATWS VIRTUAL Hokkaido, JAPAN 参加者

参加者の業種別内訳

n=617 (単位：人)



Supplier (ツアーオペレーター等)	132
Event Partner (イベントパートナー)	123
Buyer (マーケットプレイス参加のバイヤー)	91
Supplier (マーケットプレイス参加のツアーオペレーター等)	66
Media (メディア)	52
Industry Partner (ギアメーカー、コンサル等)	40
Speaker (講演者)	38
ATTA Team (ATTA関係者)	29
Destination (政府観光局、DMO等)	22
Event Partner (マーケットプレイス参加のイベントパートナー)	14
Accommodation (宿泊施設)	10

Day1

オープニングセレモニー“SUMMIT WELCOME”

概要：ATWSのオープニングセレモニー

[日本関係箇所]

- 国土交通大臣挨拶
- 北海道知事挨拶
- Virtual Japan Adventureの紹介映像（2分）放映



Day1-4

Virtual Japan Adventure *詳細は次頁のとおり

概要：

- 会期中毎日30分×2本の映像を放映
- PSA、サミット開催地であった札幌市、ポストサミットアドベンチャー開催地であった釧路市を映像で紹介



ATWS VIRTUAL Hokkaido, JAPAN 北海道／日本関係箇所

Virtual Japan Adventure

	タイトル	PSA番号	代表的な撮影地
# 1	EASTERN HOKKAIDO - THE WILD FRONTIER	PSA7、PSA13、KUSHIRO CITY	阿寒、摩周、知床、網走、釧路市
# 2	MAINLAND JAPAN'S SOUTHERN ISLANDS	K-01、K-02、S-01	九州、屋久島、四国
# 3	SOUTHERN HOKKAIDO	PSA6、PSA10、PSA12	函館、大沼、洞爺湖、黒松内
# 4	DAISETSUZAN NATIONAL PARK	PSA9、PSA15	大雪山国立公園、然別湖
# 5	AKAN MASHU NATIONAL PARK & BEYOND	PSA2、PSA3、PSA8	阿寒摩周国立公園
# 6	SOUTH & CENTRAL HOKKAIDO	PSA4、PSA5、SAPPORO CITY	日高管内、上川管内、札幌市
# 7	MAINLAND JAPAN & MT. FUJI	PSA C-01、T-01、N-01	東北、長野、静岡
# 8	NORTHERN HOKKAIDO	PSA 1、PSA11、PSA14	上川管内、宗谷管内

Day4

プレナリー# 7“CELEBRATING HOKKAIDO”

概要：北海道／日本の魅力を参加者に説明するもの

- ① 日本政府観光局（JNTO）による日本/北海道紹介
- ② 秋辺日出男氏（阿寒アイヌ工芸協同組合専務理事）による講演
- ③ 北海道知事メッセージ動画



Day2-3

Marketplace

概要：

- ビジネス商談会
 - バイヤー（各国のアウトバウンドツアーオペレーター、ホールセラー、トラベルアドバイザー等）とセラー（ATに取り組むインバウンドツアーオペレーター、ATTAメンバーの宿泊施設）が商談を行う
- ① 9/21（火） 21:00～23:00：日本,北米,南米,欧州
 - ② 9/22（水） 20:00～22:00：日本,北米,南米,欧州
 - ③ 9/22（水） 10:00～12:00：日本,オセアニア,北米（西海岸）

Day3-4

Mediaconnect

概要：

- メディアとのビジネス交流会
- サミットのオフィシャルメディア（国際的な旅行ジャーナリスト、編集者、インフルエンサー、ブロガーなど）と1対1で交流

① 9/22（木）17:00~19:00 ② 9/23（木）17:00~19:00

Day1-4

Hokkaido Lounge, Japan Lounge

概要：

- ATWS会期中に設置されるオンライン上のラウンジ
- 北海道／日本のAT商品を手掛ける旅行事業者等を紹介し、造成したAT商品を広く紹介



ATWS VIRTUAL Hokkaido, JAPAN 参加者数

Day1

ORIENTATION オリエンテーション	515
SUMMIT WELCOME サミットウェルカム	537
KEYNOTE: OUR NATURE 基調講演「私たちの自然」	227
USING INTELLIGENT DATA TO TRANSFORM TOURISM EXPERIENCES 分科会「インテリジェントデータを活用して観光体験を変革する」	239
BRINGING ABOUT A CARBON-FREE TRAVEL FUTURE 分科会「カーボンフリーの未来を実現するために」	177
EQUITABLE & ETHICAL STORYTELLING IN ADVENTURE TRAVEL 分科会「A Tにおける公平で倫理的なストーリーの伝え方」	271
VIRTUAL JAPAN ADVENTURE #1: EASTERN HOKKAIDO -THE WILD FRONTIER バーチャル・ジャパン・アドベンチャー① 道東ーワイルドフロンティア	238
VIRTUAL JAPAN ADVENTURE #2: MAINLAND JAPAN'S SOUTHERN ISLANDS バーチャル・ジャパン・アドベンチャー② 南日本の島々	187
KEYNOTE: TOMORROW'S TRAVEL 基調講演「明日の旅」	251

ATWS VIRTUAL Hokkaido, JAPAN 参加者数

Day2

KEYNOTE: INSIGHTS INTERVIEW 基調講演「インサイト・インタビュー」	318
PRACTICING KYOSEI IN BUSINESS グループ討論「ビジネスにおける共生」	137
SPOTLIGHT ON DOMESTIC TRAVEL グループ討論「国内旅行にスポットライトを当てる」	69
NEW TRAVELER BEHAVIORS & EXPECTATIONS グループ討論「新しい旅行者の行動と期待」	204
VIRTUAL JAPAN ADVENTURE #3: SOUTHERN HOKKAIDO バーチャル・ジャパン・アドベンチャー③ 南北海道	163
VIRTUAL JAPAN ADVENTURE #4: DAISETSUZAN NATIONAL PARK バーチャル・ジャパン・アドベンチャー④ 大雪山国立公園	129
KEYNOTE: CHADO: THE WAY OF TEA 基調講演「茶道」	209

ATWS VIRTUAL Hokkaido, JAPAN 参加者数

Day3

KEYNOTE: PASSIONATE PEOPLE -HEARTS IN THE ICE 基調講演「情熱的な人々－氷の中のハート」	364
BUSINESS RESILIENCE THROUGH COLLABORATION グループ討論「コラボレーションによるビジネスの回復力」	150
COMMUNITY TOURISM グループ討論「コミュニティツーリズム」	79
VACCINES AND COVID-SAFE TRAVEL グループ討論「ワクチンとコロナ－安全な旅行」	137
VIRTUAL JAPAN ADVENTURE #5: AKAN MASHU NATIONAL PARK & BEYOND バーチャル・ジャパン・アドベンチャー⑤ 阿寒摩周国立公園とその周辺	151
VIRTUAL JAPAN ADVENTURE #6: SOUTH & CENTRAL HOKKAIDO バーチャル・ジャパン・アドベンチャー⑥ 道南と道央	109
KEYNOTE: ON THE ROAD OF CONSERVATION 基調講演「保全への道」	172
FILM SCREENING: FOOD, EARTH, HAPPINESS フィルム上映「食、地球、幸福」	68

ATWS VIRTUAL Hokkaido, JAPAN 参加者数

Day4

KEYNOTE: CELEBRATING HOKKAIDO 基調講演「セレブレイティング北海道」	235
FROM SOURCE TO SELLING: THE COMMUNITY IMPACT OF OUTDOOR GEAR 分科会「アウトドアギアがもたらす コミュニティへの影響」	94
HIGH MOMENTS, LOW IMPACT: RETHINKING ADVENTURE TRAVEL'S SUSTAINABILITY EFFORTS 分科会「アドベンチャートラベルの サステナビリティへの取組を再考する」	167
VALUES-DRIVEN BUSINESSES REACHING NEW AUDIENCES 分科会「新たな顧客を獲得する価値観重視のビジネス」	95
VIRTUAL JAPAN ADVENTURE #7: MAINLAND JAPAN & MT. FUJI バーチャル・ジャパン・アドベンチャー⑦ 本州と富士山	137
VIRTUAL JAPAN ADVENTURE #8: NORTHERN HOKKAIDO バーチャル・ジャパン・アドベンチャー⑧ 道北	127
KEYNOTE: SURVIVAL 基調講演「サバイバル」	226

3. ATWS VIRTUAL Hokkaido, JAPAN アジェンダ

ATWS VIRTUAL Hokkaido, JAPAN アジェンダ

日本時間	西海岸時間	第1日目	第2日目	第3日目	第4日目
		9月20日(月)～21日(火)	9月21日(火)～22日(水)	9月22日(水)～23日(木)	9月23日(木)～24日(金)
17:00～19:00	1:00～3:00				メディア交流会
21:00～23:00	5:00～7:00		オンライン商談会		
22:30～22:45	6:45～7:00	オリエンテーション			
23:00～23:15	7:00～7:15	サミットウェルカム 国交大臣・知事挨拶、ティザー放映、 ハニスコPresident挨拶	基調講演 「インサイト・インタビュー」	基調講演 「極地における情熱的な人々」	セレブレイティング北海道 ①JNTOによる日本紹介 ②秋田日出男氏講演 ③知事メッセージ
[全体会合] 23:15～23:45	7:15～7:45	基調講演 「私たちの自然」			
23:45～0:00	7:45～8:00	休憩	休憩	休憩	休憩
[分科会] 0:00～1:00	8:00～9:00	「インテリジェントデータを 活用して観光体験を変革する」 「カーボンフリーの未来を 実現するために」 「ATにおける公平で倫理的な ストーリーの伝え方」	グループ討論 「ビジネスにおける共生」他	グループ討論 「ワクチンとコロナ:安全な旅行」他	「アウトドアギアがもたらす コミュニティへの影響」 「アドベンチャートラベルの サステナビリティへの取組を再考 する」 「新たな顧客を獲得する 価値観重視のビジネス」
1:00～1:30	9:00～9:30	バーチャルジャパン アドベンチャー① 阿寒、摩周、知床、網走、釧路市	バーチャルジャパン アドベンチャー③ 函館、大沼、洞爺湖、黒松内	バーチャルジャパン アドベンチャー⑤ 阿寒摩周国立公園	バーチャルジャパン アドベンチャー⑦ 東北、長野、静岡
1:30～2:00	9:30～10:00	バーチャルジャパン アドベンチャー② 九州、屋久島、四国	バーチャルジャパン アドベンチャー④ 大雪山国立公園、然別湖	バーチャルジャパン アドベンチャー⑥ 日高管内、上川管内、札幌市	バーチャルジャパン アドベンチャー⑧ 上川管内、宗谷管内
[全体会合] 2:00～3:00	10:00～11:00	基調講演 「明日の旅」	基調講演 「茶道」	基調講演 「保全への道」 フィルム上映 「食、地球、幸福」	基調講演 「サバイバル」 クロージングセレモニー 主催者挨拶
10:00～12:00	18:00～20:00		オンライン商談会		

Day1 Summit Welcome (サミット・ウェルカム)

(1) “SUMMIT ORIENTATION”

サミットオリエンテーション

(JST 9/20 (月) 22:45-23:00/ PST 9/20 (月) 6:45-7:00)

アンバー・シルビー部長によるATWSのオリエンテーション

- Eventtiaの使い方



(2) “SUMMIT WELCOME”

オープニングセレモニー

(JST 9/20 (月) 23:00-23:15 / PST 9/20 (月) 07:00-07:15)

ケーシー・ハニスコ会長挨拶

「(新型コロナウイルスによる)不確実で困難な時代において、私たちの役割は、観光が環境、社会、経済の公益に寄与できることを実証するリーダーである。具体的には、地域経済のため新商品の開発やオンライン販売をする、地元の子供に気候変動について教育するなど。サミットでネットワークを築く際には、こうしたストーリーに耳を傾けることを推奨する。また、日本はアメリカと異なり、個人よりもコミュニティを尊重するため、ATTAおよび全ての人に適合することが可能である。当サミットで日本のアドベンチャーを感じ、日本のホストに会い、仮想のアドベンチャーを体験することを願っている。」

Day1 Summit Welcome (サミット・ウェルカム)

(2) “SUMMIT WELCOME” オープニングセレモニー

(JST 9/20 (月) 23:00-23:15 / PST 9/20 (月) 07:00-07:15)

赤羽国土交通大臣挨拶

「多様な野生動物や食物をもたらす日本の四季、北海道の雄大な自然、これらはアドベンチャーツーリズムの宝庫である。サミットのテーマである共生とは、お互いに利益をもたらすこと。アイヌが具体化した「自然が人類に生命を与え、その見返りとして自然を守る」という概念はアドベンチャートラベルにも通ずる。共生をテーマにした様々なイベントを通して皆様の絆を深め、意見交換をし、有意義な体験としていただきたい。実際に皆様を日本および北海道でお迎えできることを心待ちにしている。」

鈴木北海道知事挨拶

「北海道には四季折々の自然、多様なアクティビティ、アイヌなど固有の歴史や文化、美味しい食や温泉といった魅力あるコンテンツが多数存在する。期間中は、準備したアドベンチャーコースの中から選りすぐりのものを『バーチャルジャパンアドベンチャー』として毎日放映するほか、特設コーナーも設け、情報提供や質問の受付も行う。」

Virtual Japan Adventureの紹介映像放映 (2分)



Day1 Keynote (基調講演)

(3) KEYNOTE: OUR NATURE 基調講演「私たちの自然」

(JST 9/20 (月) 23:15 -23:50 / PST 9/20 (月) 07:15 -07:50)

「私たちは皆、どこかの国の先住民です。深く掘り下げなくても、私たちの生活様式や身体、文化に価値観や伝統が組み込まれている土地や人々の中に、自分のルーツを見つけることができます。しかし、ほとんどの人は、会社を繁栄させるために努力する中で、先住民の知恵が求める価値観や自然を中心としたライフスタイルから離れてしまったように感じています。」

今回のATWSのテーマである「共生」に基づく「無限の可能性」、「探求」、「希望」、「社会の再生」について講演した。

【要旨】

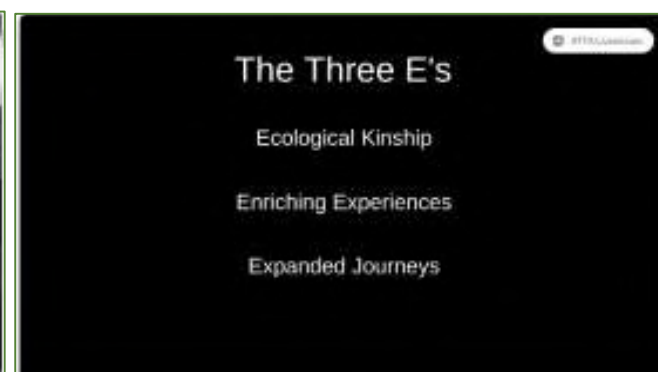
- 私たちは、再定義や再生、復活の可能性を秘めた新しい時代、ルネサンスの入口に立っている。
- パンデミックによって生活が破壊されているが、同時に、知恵や知性、慈しみによって再構築する機会でもある。
- 世界の先住民と同様、アイヌの人々の知恵は古来の価値観を取り戻すための指針になり、彼らの価値観と哲学は、私たちのすべての行いにおいて、相互に有益な育成 – 人々と土地を尊重し、保護し、繁栄させる持続可能な育成 – を生み出す潜在的能力があることを強く想起させる。
- 観光が先住民族の文化と環境に壊滅的な影響を与えるのを目にした。
- 私がRegenerative Travel (再生旅行) において重要だと考えるのは3つの「E」。すなわち、
Ecological Kinship (生態学的な親族関係)
Enriching Experiences (豊かな経験)
Expanded Journeys (拡張された旅)

Day1 Keynote (基調講演)

(3) KEYNOTE: OUR NATURE 基調講演「私たちの自然」

(JST 9/20 (月) 23:15 -23:50 / PST 9/20 (月) 07:15 -07:50)

- パンデミックは、人生がどれほど貴重で束の間のものであるかを知らしめた。そして、人々はこれまで以上に、愛する人との思い出を作る有意義な体験を必要としている。
- パンデミックが引き起こしたロックダウンにより、スロートラベル、デジタル・ノマディズム、ロードトリップなどが増加した。
- 人々は意味のある経験を望んでおり、地域と積極的に交流し、持続可能かつ有意義な方法で地域社会を支援したいと考えている。
- 旅行には、心に触れ、心を変え、世界に影響を与える力がある。再生のルネサンスの限界点で、あなたは「より良い復興」を実現する可能性を秘めている。
- 最も重要なのは、アイヌの人々のように、あなたが知恵で私たちの道を照らし、善のための力になれるということ。



講師 : Dr. Elizabeth Kapu'uwailani Lindsey | National Geographic Explorer

ナショナルジオグラフィック協会史上初のポリネシア人探検家であり、女性フェロー。文化人類学者であり、数々の賞を受賞した映画監督。先住民の知恵の保護者として、また、社会的、環境的、文化的正義の擁護者として、広範囲に旅をしている。

Day1 Concurrent (分科会)

(4)-1 USING INTELLIGENT DATA TO TRANSFORM TOURISM EXPERIENCES

「インテリジェントデータを活用して観光体験を変革する」

(JST 9/20 (火) 00:00 -01:00 / PST 9/19 (月) 08:00 -09:00)

現在のデータ環境では、ビジネスにおいても規制においても、倫理基準の遵守とオープンで透明性の高い実践が求められています。COVID-19からの復旧作業の効果を測定するためにモビリティアナリティクスを使用することで利益を得る destinations レベルの意思決定者、土地管理者、観光事業のリーダーは、自信を持って情報に基づいた意思決定を行うことで、ソリューションの一部とならなければなりません。

本セッションでは、冒険家、生物学者、環境保護活動家であるマイク・ウェリング氏を講師に迎え、オーストラリア政府がデータのギャップを埋めるために行った取り組みにより、地理空間データを利用して観光や小売の動向をリアルタイムで把握し、経済、環境、文化的なパフォーマンス指標を通じた観光の影響を360度見渡すことができることを紹介した。また、ATブランドがどのようにデータを利用して商業的、社会的、環境的な要因を考慮したビジネス戦略を行っているかを検証し、より強く持続可能な観光産業を構築するために自分が果たすべき役割を明確にした。

講師

Mike Welling : Founder & CEO at WEJUGO and Hemisphere Digital

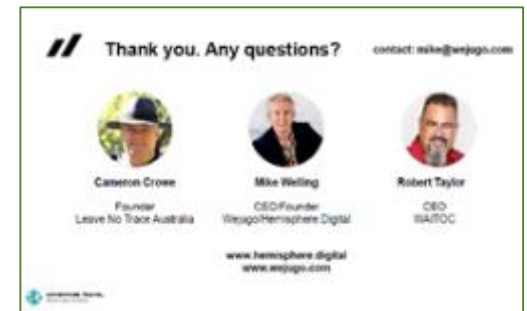
データとテクノロジーの変換価値に関する知識を天然資源部門に応用し、野生の場所の人的価値を強化する手段として、責任あるアウトドア・レクリエーションへのコミュニティの参加を促進するために、Wejugoを設立。

Robert Taylor : CEO at WAITOC

2015年にWAITOCのCEOに就任。アボリジナル・ツーリズム開発プログラムを成功させ、西オーストラリア州全体で39の新しいアボリジナル・ビジネスを成長させた。これらのビジネスは、新たな雇用を創出し、資金援助プログラムの一環であるGo Cultural Aboriginal Tours and experiencesで全国アボリジナル・ツーリズム賞を受賞。

Cameron Crowe : Sustainability at Wejugo

2002年にオーストラリアでLeave No Traceアウトドア・レクリエーション・ミニマル・インパクト・プログラムの共同創設者となった。DIDMSのダイバックマッピングがデジタルアプリWejugoに組み込まれ、生物多様性の地理空間データと訪問者の移動データを試験的に使用して、環境・レクリエーション資産の管理と訪問者へのメッセージ発信を改善した。



Day1 Concurrent (分科会)

(4)-1 USING INTELLIGENT DATA TO TRANSFORM TOURISM EXPERIENCES

「インテリジェントデータを活用して観光体験を変革する」

(JST 9/20 (火) 00:00 -01:00 / PST 9/19 (月) 08:00 -09:00)

講師：

Mike Welling (MI) : Founder & CEO at WEJUGO and Hemisphere Digital

Robert Taylor (RO) : CEO at WAITOC

Cameron Crowe (CA) : Sustainability at Wejugo

- (MI) 5年前、アドベンチャーを求める人々の情報共有コミュニティが必要だと考えWEJUGOを立ち上げ、2年前にオーストラリア政府が2030年の成長戦略を検討するにあたり従来の国内企業やマーケットリサーチでは、現場とのギャップがあったので、観光業のインテリジェントデータのイノベーションにより、私たちは機会を得ることができた。環境問題、社会問題や地域に与える影響など、観光業全体の対策が求められており、私たちの作った地理空間データ分析プラットフォームは、人々の動き、交流、購買動向のデータの提供を通じて、観光業に与える影響についての情報の提供が目的です。一番重要なのは、これはパーパス・ドリブン（目的に導かれる）であり、社会成果を重視したビジネスであるという点です。
- (MI) 企業にとって、今後は「影響報告（impact reports）」が財務報告よりスタンダードなものになることを望む。
- (CA) 気候変動も大きな問題だが、生物多様性も世界が直面している大きな問題で、テクノロジーによって、私たちが環境に与える影響をより明白、正確に調査できることを望む。
- (RO) 「影響報告（impact reports）」のスタンダード化には間違いなくパーパス・ドリブンだ。先住民地域では、特にこのようなプラットフォームやデータ分析が必要。
- (MI) 今のところオーストラリア国内のみ使用可能で、国際的なプラットフォームとなるためにはデータの制限などにより非常に難しいが、いずれそうなることに興味を感じている。
- (RO) 西オーストラリアのアボリジニツーリズムにおいて、若いアボリジニの方々は、デジタルに精通しているが、多くの若者たちは観光事業者ではないということが問題で、今はデジタル技術を教えてくれる若者に頼っている。
- (RO) アボリジニが先住民として認められたのは、1967年の国民投票でした。それまでは人ではなく動植物のように扱われ、ビジネスを行うことも認められていませんでした。そのため、家族が行っていたビジネスを引き継ぐようなこともできませんでした。私たちはゼロから長い旅を始めたようなものなのです。

Day1 Concurrent (分科会)

(4)-2 BRINGING ABOUT A CARBON-FREE TRAVEL FUTURE

「カーボンフリーの未来を実現するために」

(JST 9/20 (火) 00:00 -01:00 / PST 9/19 (月) 08:00 -09:00)

移動、宿泊、買い物、食事など、旅行に関わるすべての要素が二酸化炭素を排出し、世界の温室効果ガス排出量に大きく影響している。旅行業界は、「脱炭素化が困難な分野」の一つとして広く知られているが、未来への情熱を持った創造的で起業家的な人々によって支えられている革新的な分野でもある。このセッションでは、最初から製品に脱炭素を組み込んだ先見性のある新しいデスティネーションや、炭素除去を提唱する主要な学術機関のパネリストを迎え、炭素のない旅行の未来を創造するための重要なトピックを探った。

講師

Christina Beckmann : Vice President, Global Strategy at ATTA

ATが環境、コミュニティ、野生動物、ビジネスにもたらすさまざまなポジティブな影響を強調しながら、デスティネーション・パートナーのための戦略的ソリューションを構築・提供するために、部門横断的なチームをリード。また、アドベンチャービジネスへの投資を促進し、業界全体の拡大を支援するための業界調査の立案と実施を担当。

Eli Mitchell-Larson : Advisor | DPhil Candidate at University of Oxford | Carbon Direct

オックスフォード大学を拠点とする気候研究者・実務家。主な研究テーマは、安全で耐久性の高い炭素貯蔵により、世界的なネットゼロエミッションを実現する技術と政策の拡大。ネット・ゼロ戦略や炭素除去のコンサルティングは、旅行、投資、エネルギー分野で行われており、自然に基づいた気候変動対策と、それぞれのリスクを軽減するための人工的な対策を最適にバランスさせたカーボン・オフセット戦略の策定なども行う。最近では、炭素除去に関するアドバイザーや投資家として、MicrosoftやShopifyなどを顧客に持つCarbon Direct社に参加。

Andrew McEvoy : Head of Tourism at NEOM

NEOM社の観光部門の責任者として、多様な自然の生息地と豊かな歴史的遺産が明日の観光に出会う、世界で最も野心的なデスティネーション開発をリード。25年以上に渡り、観光、メディア、デジタルマーケティング、eコマースの分野で役員および非役員としての経験を積む。NEOMに入社する前は、オーストラリア政府観光局のマネージング・ディレクター兼CEOなど、観光業界で輝かしい経歴を持ち、在職中には、オーストラリア政府観光局の2020年戦略の策定と実行を監督し、10年以内に国内の観光収入を倍増させるという大きな成功を収めた。



Day1 Concurrent (分科会)

(4)-2 BRINGING ABOUT A CARBON-FREE TRAVEL FUTURE

「カーボンフリーの未来を実現するために」

(JST 9/20 (火) 00:00 -01:00 / PST 9/19 (月) 08:00 -09:00)

講師：

Christina Beckmann (CH) : Vice President, Global Strategy at ATTA

Eli Mitchell-Larson (EL) : Advisor | DPhil Candidate at University of Oxford | Carbon Direct

Andrew McEvoy (AN) : Head of Tourism at NEOM

- (CH) 「観光業にまつわる気候変動の原因と、観光業を営む私たちができる洞察に基づいた解決策」がこの分科会のテーマで「カーボンフリートラベル」の未来を創造するための重要なポイントについてお話ししたい。
- (EL) 旅行業は、「クライメートポジティブ」(“Climate Positivity” : 温室効果ガスの排出量より、削減する量を多くすること) について可能性を秘めているが道のりは長い。場所や時期を問わず、できる限り温室効果ガスの排出を削減し、残りの排出量を除去することにフォーカスしていく必要がある。
- (AN) NEOMは、科学に基づいた指標を基にした行動を念頭に置き、170kmの都市から車と車道をなくすことにより炭素排出量をゼロにし、NEOM内の自然環境の95%を保護することも発表し、持続可能な社会づくりに大きな貢献をしている。
- (CH) 温室効果ガス排出の点から飛行機は悪者にされがちだが、宿泊施設、食事、肉食など全てが影響する。
- (EL) 世界の温室効果ガス排出量500億トンのうち3%は旅客機によるもので急速に増加している。長時間のフライトの代替え手段がないため排出軽減が困難だが、ユナイテッド航空などはCO2直接回収を始めている。大きな課題だが、フライトを止めるのではなくカーボンゼロを進めるべき。
- (AN) 観光業全体では8%位を占めるのでは。より環境にやさしい機体の開発を進めているにもかかわらず航空業界は責められ過ぎと思う。
- (EL) 温室効果ガス排出ゼロが目標だが、やむを得ず排出する場合の除去のため千年単位での貯蓄場所確保が必要。貯蔵期間が長期にわたる理由は、CO2が空気中に長時間留まる物質だからで、父母、祖父母が排出したCO2も未だ空気中に残っている。大気中のCO2をすべて取り除くのなら、長期にわたり全くCO2を排出しないことが必要。生態系回復には10万年後まで考えるべきだが多くの場合できていない。
- (EL) 人類が石油を掘り出すようになってから、生物地球化学的な炭素循環のみでは不十分になったので、大気中からのCO2直接回収と地中貯留を始める必要がある。
- (AN) 旅行業の観点から、例えば旅行者に「Regenerative Receipt」を発行し、地域雇用増加やカーボンオフセットが実現ができれば、罪の意識なく旅行を過ごすことができる。楽しめる要素として提供することが必要。

Day1 Concurrent (分科会)

(4)-3 EQUITABLE & ETHICAL STORYTELLING IN ADVENTURE TRAVEL

「ATにおける公平で倫理的なストーリーの伝え方」

(JST 9/20 (火) 00:00 -01:00 / PST 9/19 (月) 08:00 -09:00)

エキゾチックな場所（たいていは新興国）を紹介する同じようなストック写真、伝統的な衣装を身にまとった「地元の人々」の怠惰な表現、決まりきった願望やインスピレーションの引用など、私たちはこれまでにすべてを目にしてきた。そしてさらに悪いことに、これらの中には問題のあるものもある。AT業界のリーダーとして、私たちはもっと良いものを作ることができる。このワークショップでは、世界の文化やコミュニティに関する有意義なコンテンツを流用するのではなく、敬意と配慮に深く根ざした方法で作成する方法について、入門編を提供した。

また、販売やマーケティングで使用する画像や言葉の力関係を解明し、多様性と表現のために真剣に「歩く」こと、そして私たちが行く場所とその途中で出会う人々についての倫理的なストーリーを促進するために私たちの力を活用することが重要なポイントとなった。



講師 : Justine Abigail Yu | Founder at Living Hyphen

Living Hyphenの創設者であり、ハイフネーションを持つカナダ人、つまりカナダを故郷としながらも他の場所にルーツを持つ人々が、文化の間で生きるこの意味を探るコミュニティとマルチメディアプラットフォーム。また、受賞歴のあるライティングワークショップのファシリテーターでもあり、その作品はYahoo!ニュース、NextShark、CTV National News、CBCなど、国内外のメディアで紹介されている。

Day1 Concurrent (分科会)

(4)-3 EQUITABLE & ETHICAL STORYTELLING IN ADVENTURE TRAVEL 「ATにおける公平で倫理的なストーリーの伝え方」

(JST 9/20 (火) 00:00 -01:00 / PST 9/19 (月) 08:00 -09:00)

講師 : Justine Abigail Yu | Founder at Living Hyphen

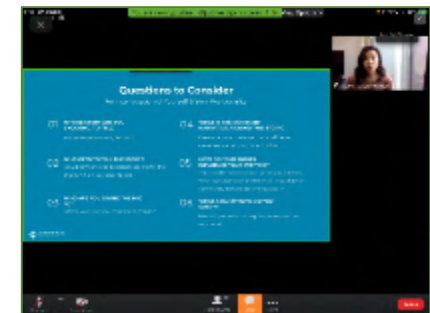
・倫理的で公平なストーリーテリングを、私たちの執筆に具体的に統合できる方法は？

1. 様々な声を増幅させること。体系的または歴史的に排除された別の側面や言葉は少数しか存在しない。
2. 一般化（標準化）を避ける。特定の国に存在する可能性のある多数の民族、部族、文化、方言を無視しないことが重要。
3. 異文化や人々のコミュニティに独自の解釈を投影することに注意。その場所の独自の解釈を予測せず、より良い時間や趣のある時間の典型的な比喩に頼らないようにすることはとても重要。
4. アイデンティティのさまざまな関わり注意。その複雑さとニュアンスのすべてをストーリーテリングに取り入れることで、はるかに豊かで説得力のあるストーリーが生まれる。
5. 抑圧的な言葉は知識の限界を表すだけでなく知識を制限する。ストーリーを語るうえで大切なことは、公平的であること、倫理的であること、ストーリーテラーとしての特権を考慮すること。
6. 写真には1,000の言葉の価値がある。旅行業界では旅行熱を醸造するために画像に大きく依存しており、写真撮影では私達の反抑圧と公平の実行がより重要。

・考慮すべき質問

- a. 何について、もしくは誰を撮影しますか？どんなストーリーを選びましたか？
- b. 写真の中心にいるのは誰ですか？行動を主導するのは誰ですか？
- c. ボディーラングージとポジショニングはどのような物語を語っていますか？
- d. このような写真を撮りたいですか？（あなたの主題の尊厳を支持し、保護しますか？）
- e. 写真フレームに何を含める事を選択しますか？（誰を切り抜きますか？なぜですか？）
- f. この写真を撮る許可を求めましたか？
 - ・「あなたは写真を撮るのではなく作るのです」byアビゲイル・アダムス（写真家）
 - ・ 永続的な固定観念を避け、単一の物語の危険性に注意。国、文化、人々を1つのストーリーまたは1つの視点に限定せず、ストーリーテリングで複雑さを表現し、複雑さを捉えていることを確認すること。
 - ・ 様々な文化の古代の伝統をロマンチックに見せていないかに注意。
 - ・ この18ヶ月で私達の生活は劇的に変化したが、この業界に根付いている様々な構造を再設計または再構築するための始まり。

※旅行や文化のクリエイター向け抑圧防止ツール <https://sheswonderful.com/equit>



Day1 Virtual Japan Adventure (バーチャル・ジャポン・アドベンチャー)

(5)-1 VIRTUAL ADVENTURE #1: EASTERN HOKKAIDO -THE WILD FRONTIER 道東 -ワイルドフロンティア

(JST 9/21 (火) 01:00 -01:30 / PST 9/20 (月) 09:00 -09:30)

PSA7 : 「地の果て・シリエトク (知床) 」を目指すサイクリングツアー (宝島旅行社 / オホーツク)

PSA13 : 道東の三国立公園を巡るワイルドライフ探索ツアー (宝島旅行社 / 釧路・根室)

釧路市プロモーション

収録地 :

- ・釧路湿原 (釧路市) PSA13
- ・阿寒アイヌコタン等 (釧路市)
- ・神の子池-ハイキング (清里町) ※PSA外
- ・屈斜路湖-カヌー (弟子屈町) PSA13
- ・網走湖-カヤック (網走市) PSA7
- ・大曲湖畔公園-収穫体験、ピザ作り (網走市) PSA7
- ・能取湖、天都山 (網走市) PSA7
- ・天に続く道-サイクリング (斜里町等) PSA7
- ・来運神社-ハイキング (斜里町) PSA7
- ・知床五湖-ハイキング (斜里町) インタビュー/オホーツク総合振興局保健環境部環境生活課知床分室 吉澤主幹 PSA13
- ・知床半島-ハイキング (斜里町) インタビュー/SHINRA 畑谷ガイド PSA13
- ・郷土料理 武田-食事 (標津町) インタビュー/郷土料理 武田女将 PSA13

視聴者の声 :

「私はここでたくさんのストーリーを見るトラベルジャーナリストです。いつかコンタクトします！」「行ってみたい」「個人的には驚を見てみたい。とても美しい」等

Day1 Virtual Japan Adventure (バーチャル・ジャポン・アドベンチャー)

(5)-2 VIRTUAL ADVENTURE #2: MAINLAND JAPAN'S SOUTHERN ISLANDS 南日本の島々

(JST 9/21 (火) 01:30 -02:00 / PST 9/20 (月) 09:30 -10:00)

K-01 : 世界自然遺産の屋久島で黒見岳登山とリバーアクティビティ ((株)JTB 福岡支店 / 九州)

K-02 : 阿蘇・高千穂で火山の息吹と自然の恵みを体感する旅 ((株)JTB 福岡支店 / 九州)

S-01 : 訪れるべき四国を代表する海と山と川をEバイクで巡る旅 (四国ツアーズ(株) / 四国)

収録地 :

- ・高千穂峡-ハイキング (宮崎県高千穂町) K-02
- ・霧立越トレイル-ハイキング (宮崎県五ヶ瀬町) インタビュー/霧立越の歴史と自然を考える会 秋元治会長K-02
- ・阿蘇山-サイクリング (熊本県南小国町) K-02
- ・下城きこの園 (熊本県南小国町) インタビュー/下城きこの園 下城社長K-02
- ・溶岩トンネル-ハイキング (熊本県阿蘇市) K-02
- ・世界自然遺産エリアネイチャーウォーク (鹿児島県屋久島町) K-01
- ・YAKUSHIMA BLESS (鹿児島県屋久島町) インタビュー/YAKUSHIMA BLESS金田代表K-01
- ・栗生川カヤック&シャワークライミング (鹿児島県屋久島町) K-01
- ・本坊酒造 (鹿児島県屋久島町) K-01
- ・華ひめ楼 (愛媛県松山市) インタビュー/華ひめ楼 田中さんS-01
- ・大三島-サイクリング (愛媛県今治市) インタビュー/WAKKA 村上社長S-01
- ・石鎚山-サイクリング (愛媛県久万高原町/愛媛県西条市) S-01
- ・UFO-LINE-サイクリング (高知県いの町) S-01
- ・仁淀川-SUP (高知県いの町) インタビュー/SUGGOI SPORTS 佐々木社長S-01
- ・いの町紙の博物館 (高知県いの町) インタビュー/和紙職人 北岡氏S-01
- ・亀泉酒造 (高知県土佐市) インタビュー/亀泉酒造 西原社長S-01

視聴者の声 :

「このバーチャルアドベンチャーは素晴らしい！ 私たちに素晴らしいコーナーを共有してくれてありがとう」「九州はATのたくさんのポテンシャルがある」等

Day1 Keynote (基調講演)

(6) KEYNOTE: TOMORROW'S TRAVEL 基調講演「明日の旅」

(JST 9/20 (火) 02:00 -03:00 / JST 9/19 (月) 10:00 -11:00)

アドベンチャーツーリズムの起業家、イノベーター、デスティネーション開発者、ストーリーテラー、そして関連業界のクリエイティブで自由な発想の持ち主にとって、新たな領域を開拓することは生きがいでもある。2020年に停止した観光の善と悪の強力なモメンタムにより、多くの人が旅行の未来のための実践、目標、ビジョンを評価することができた。その一つが、自然と融合し、テクノロジーによって進化するビジョンである。NEOM (New Future) は、自然と調和した人間の進歩を加速させることで、新しい生活様式と新しい旅の方法を開拓しており、この持続可能な生活のための新しいモデルを紹介した。

- NEOMはサウジアラビア王国が打ち出したVISION2030の一部である巨大プロジェクト。
- 観光はその土地にとって、容易にネガティブなものになり得るため、私たちは観光部門と緊密な関係を保ち、自然保護区の設計や自然体験について協働している。
- 私たちは観光業界と協力して、NEOMを訪れる全ての人々のFOOTPRINT（資源の消費や廃棄物の排出などの痕跡）を算出して、これらを防ぐことができる計算システムを構築する予定。
- NEOMが切望しているのは「未来の場所」になることで、私たちにとっての未来とは、人間と自然が調和して暮らす場所を意味する。そしてその最善の方法がFOOTPRINTを抑制すること。
- 自然保護は伝統的に人を閉め出すことで行われてきたが、NEOMは排除ではなく包括によって達成することを望んでいる。
- NEOMは写真を撮るだけの場所ではなく、自然保護に参加し、誇りを感じることができる場所。
- NEOMは近い将来、皆さんの素晴らしい体験の一部になる場所となるでしょう。私たちと一緒に、NEOMという旅にご参加下さい。



講師 : Paul Marshall | Head of Nature Region at NEOM

NEOMの自然地域の責任者であるポールは、NEOMの95%を保護するためのビジョンと戦略を主導し、自然と調和した開発というNEOMの目標を実現するための基盤となる資産として、自然地域の管理と紹介を確実に行う責任を負っている。またそれ以前は、NEOMの最高環境責任者を務めていた。

NEOMに入社する前は、環境問題に対する革新的なソリューションを生み出すことを専門とするReef Ecologic社のマネージングディレクターを務めていた。

Day2 Virtual Marketplace (商談会)

(1) Virtual Marketplace 商談会

- ① JST 9/21 (火) 21:00 -23:00 / PST 9/21 (火) 05:00 -07:00
- ② JST 9/22 (水) 00:00 -02:00 / PST 9/21 (火) 08:00 -10:00
- ③ JST 9/22 (水) 10:00 -12:00 / PST 9/21 (火) 18:00 -20:00

1. 内容：各地域とバイヤーがリアルタイムで商談を実施。

2. 参加事業者：道内事業者9社

- (株) 北海道宝島旅行社
- (株) JTB
- (株) 日本旅行北海道
- ANAX (株)
- (株) 近畿日本ツーリスト北海道
- (株) ジャルパック
- 東武トップツアーズ (株)
- (株) ニセコリゾート
- 阿寒アドベンチャーツーリズム (株)

3. 商談数

道内9事業者が計51回の商談を実施

4. 実施率が低かった理由

- ① 時差
- ② バイヤー等がほかの地域とのミーティングを優先
- ③ テクニカルイシュー

Day2 Virtual Marketplace (商談会)

5. 参加者の声

- 動画も多くご覧いただけたと判り、安心した
- テーラーメイドやスモールグループを取り扱うバイヤーが多かった
- 文化体験を絡んだATの方が販売しやすいのでは、という印象を受けた
- 旅行会社に集中してリクエストを送っていたため、事前マッチング数が少なかった。メディア等にも広げて、もう少しリクエストを出せば良かった。また欧米時間でも対応できるというアピールをすれば良かったと感じている
- フォローメールに1件反応あり。他にも引き続きアプローチしていきたい
- ATというよりは、まず日本を売ってみたいという意向を感じた。少しずつでもATを絡めて造成していきたい
- ロングホールのデスティネーションのため、2週間くらいのツアーで、観光をしながらアドベンチャーや文化体験を入れたいという声が多かった
- モデルコースについて、季節やE-Bike 使用についての質問等があった
- インドの事業者から、インドのお客様を受けてもらえるかと聞かれたのが印象的
- 他県も含めた商品造成ができるかと聞かれた
- ソフトアクティビティのリクエストが多いように感じた
- 北米欧州がメイン。個人経営等小規模のエージェントが多い印象
- マーケットプレイスはNo Showが課題。また、プロフィールで相手の情報がよく分からず、商談時に深い話ができなかった。
- サイクリング を扱う旅行会社が多いように感じた
- 事前にEventtiaでトライアルの商談ができたのは良かった
- No Showや直前キャンセルが多く、不安になった
- 追加リクエストを出したがペンディングで残り、その時間に予定を入れられなくなった
- 相手はオールジャパンとしての対応を望んでいた 等

6. サミット後の商談状況

- ① 大会終了後、海外の事業社にアプローチした社数：65社
- ② ①のうち回答のあった社数：18社
- ③ ②のうち現在商談進行中の事業者数：4社

Day2 Keynote (基調講演)

(2) KEYNOTE: INSIGHTS INTERVIEW 基調講演「インサイト・インタビュー」

(JST 9/20 (火) 23:00 -24:00 / PST 9/20 (火) 07:00 -08:00)

Travel Weeklyの編集長であるアーニー・ワイズマンが、さまざまなトピックについてジェシカと対談した。

- 最も興味深かった国やアクティビティは、アフリカと中東。私は人々が考える「やりたいことリスト」よりもディープな文化体験をすることを望む。
- 今日ではたくさんの女性が一人旅をしており、一人旅の方がより深く美しい体験ができると思う。また、欧州や南米を旅する黒人は以前より増えている。興味深いのは、私がウガンダのパスポートを見せるとオーバーステイしようとしていると疑われ、アメリカのパスポートを見せると偽物だと疑われることもあるが、このため世界中の入国管理官と興味深い交流ができた。
- パンデミックの影響で、明らかに旅行の頻度が落ちた。COVIDとともに移動しないよう、要求されていない場合でも2週間ごとにCOVIDのテストを受け、回数は50回を超え、ワクチンも接種した。
- 旅行は数兆ドル規模の世界的な業界であり、そこで働く人々は経済的に苦しんでいる。政府が行くべきではないという場所に行くべきではないけれど、安全を確保しながら特定の経済に貢献する方法があると思うし、あなたにも出来る方法があると思う。
- 気候変動に対して、脆弱なのは私たちが地球にダメージを与えた国以外のその他の国々。
- 多くの旅行者が、ある政府への不同意を「その国への訪問をボイコットする」ことで表現するが、政府が行っていることを理由に私が旅行をしない国はない。なぜならボイコットは現地の人々を助けることにはならないし、現地の人々をサポートする組織などにお金を払っても、彼らにはほとんど届かないが、現地での旅行に支払った対価は個人レベルの経済的影響を与えるから。

講師：

Jessica Nabongo | Traveler at The catch me if you can

作家、起業家、旅のインフルエンサー。世界のすべての国を訪れたことを記録した最初の黒人女性。ミシガン州デトロイトでウガンダからの移民の子として生まれ育ったジェシカは、6歳のときにロンドンとウガンダへの初めての海外旅行を経験。世界中を旅し、一般的に観光客が少ない国での体験を伝えることに情熱を注いでいる。

Arnie Weissmann | Editor in Chief at Travel Weekly

Travel Weekly編集長、Travel Weekly親会社（ノーススター社）の上級副社長兼編集責任者。30年以上にわたり、旅行ジャーナリズムに携わる。公共放送サービスのテレビ番組「The Travel Detective」のレギュラーコトリビューターでもあり、彼のコメントはNBC、CNN、BBC、Sky News、NPRにも使用されているほか、ニューヨーク・タイムズ、ウォール・ストリート・ジャーナル、USAトゥデイなどのメディアにも引用されている。



Day2 Round Table (グループ討論会)

(3) Round Table グループ討論会

(JST 9/22 (水) 00:00 -01:00 / PST 9/21 (火) 08:00 -09:00)

コミュニティ・ラウンドテーブルは、イベントのテーマに関連する重要なトピックについて、参加者が少人数のグループで積極的に議論する場であり、多くの参加者がセッションに参加し、画面を共有したり、チャットを入力したりするなどして、複数のトピックについて互いに意見を交わした。ラウンドテーブルは、世界のさまざまなタイムゾーンから参加できるように、生放送で行われた。

○ PRACTICING KYOSEI IN BUSINESS 「ビジネスにおける共生の実践」

ファシリテーター：Jorge Perez | Owner at Tierra del Volcan

(持続可能な開発の推進者であり、ATを提供するTierra del Volcan社の創設者、エクアドル・エコツーリズム協会の元会長、ATTAアンバサダー等)

共生のバランスを保つための私たちの役割、具体的な方法などを話し合った。

○ SPOTLIGHT ON DOMESTIC TRAVEL

「国内旅行にスポットライトを当てる」

ファシリテーター：Greg Klassen/Partner at Twenty31 Consulting Inc.

(旅行・観光業界の戦略家であり、カナダの国家観光機関であるデスティネーション・カナダのCMO兼CEOなどの経験者)

国内旅行やアウトドアレジャーの急増、観光産業の回復に向けた準備と予測を行った。

○ NEW TRAVELER BEHAVIORS & EXPECTATIONS 「新しい旅行者の行動と期待」

ファシリテーター：Ana Duek | Director at Viajar Verde

(ブラジルの旅行ジャーナリストで、持続可能な観光に焦点を当てたウェブサイト「Viajar Verde」の代表、ATTAアンバサダー)

コロナによる旅行者の新たな要求、行動の変化、期待への影響に市場関係者がどのように対応しているか、傾向を紹介した。



Day2 Round Table (グループ討論会)

(3) Round Table グループ討論会

JST 9/22 (水) 00:00 -01:00 / PST 9/21 (火) 08:00 -09:00

○ PRACTICING KYOSEI IN BUSINESS 「ビジネスにおける共生の実践」 ファシリテーター : Jorge Perez | Owner at Tierra del Volcan

- 今日は『共生』というコンセプトを観光業界でどう実践できるかについて話し合いたいと思う。
- このコンセプトをどのように地域のコミュニティと共有できるか。ゲストに帰国後も日常生活で実践してもらうにはどうすれば良いか。
- 共生は通常人間と自然の間だけでなく、業界内の競合他社や公的機関との間にも必要で、他のツアーオペレーターや公的機関と協力して、自然や野生動物を守らなくてはならない。
- 共生は人間と自然の間だけでなく、異なる組織間でも実践されるべき。
- ポリシーの策定には政府との協力が必要で、その最も素晴らしい例がナミビアにある。ナミビアは政府が管理する国立公園を地域コミュニティが管理する私有の保護地に変更した。これにより地域コミュニティが収入を得る機会が生まれ、彼らが野生動物を管理する責任を担うようになった。
- ポジティブとネガティブの両面で、私たちが与える影響を測定する必要がある。
- 2つめのコンセプトは教育。私たちの課題の一つは、ゲストを教育すること。
- 私たちの業界のために、知識を共有し、責任を持ち、より理解することが重要。
- 私たちはゲストにユニークで非常に大きな影響を与えることで、彼らを一変させることができる。私たちがコミュニティとしてどう実践すべきか、あるいはゲストをどう巻き込むべきか、もう少し探求してほしい。
- 今日私たちが話したコンセプトはスロートラベル、ローカルのように旅行すること、そして仕事、休暇、ワーケーションの機会。ゲストを教育することの重要性。
- 危機は、成長や変化、新しい物事に挑戦する絶好の機会。この業界が直面している最大の危機であるパンデミックも、これらの新しいモデルにとって良い機会となる。
- また、誰でも使える共通の計算・測定システムを作ること、地域のビジネスを奨励し協働すること、サプライヤーの技術スキルと商品品質の向上を支援することも重要。
- 私たちが環境等に与える影響をその地域 (Destination) でオフセットすることは、私たちができる最善のこと。
- 私たちには廃棄物削減や自然保護、影響の測定など改善できる余地が多く残されています。持続可能な開発、責任ある観光、再生可能な観光等など、やるべきことはたくさんある。それらを実践する最も良い方法は多様性、教育、そして知識の共有である。



Day2 Virtual Japan Adventure (バーチャル・ジャポン・アドベンチャー)

(4)-1 VIRTUAL ADVENTURE #3: SOUTHERN HOKKAIDO 道南

(JST 9/22 (水) 01:00 -01:30 / PST 9/21 (火) 08:00 -08:30)

PSA6 : 洞爺湖から日本海へ ～ガイド付きサイクリングツアー(宝島旅行社 / 後志・胆振)

PSA10 : 洞爺湖有珠山ジオパーク&黒松内ローランド・アドベンチャー(宝島旅行社 / 後志・胆振)

PSA12 : 火山が造った箱庭・大沼カヌーツーリング～カヌー&農山漁村交流(宝島旅行社 / 渡島・檜山)

収録地 :

- 函館市内-ウォーキング (函館市) PSA12
- 函館山-ハイキング (函館市) PSA12
- 昆布漁体験、出汁取り体験 (鹿部町) PSA12
- 函館市内-ウォーキング/幸寿司、箱館醸造 (函館市) ※PSA外
- 米農家インタビュー (北斗市) インタビュー/農家 木村氏 ※PSA外
- 大沼公園-カヤック (七飯町) インタビュー/イクサnder大沼カヌーハウス代表 渡辺ガイド(知事認定アウトドアガイド・カヌー) PSA12
- ふぁーむいん富田-ポテトチップス作り (黒松内町) インタビュー/農家民宿 富田氏 PSA10
- ウポポイ紹介 (白老町) PSA10
- 洞爺湖有珠山ジオパークガイドツアー (洞爺湖町等) インタビュー/ Sotoasobu代表 江川ガイド (知事認定アウトドアガイド・自然) PSA10
- 洞爺湖-サイクリング (洞爺湖町等) PSA6
- ふきだし公園-サイクリング (京極町) PSA6
- 登別地獄谷-ハイキング (登別町) PSA6
- 羊蹄山-サイクリング (ニセコ町) PSA6
- 歌オプナ林-ハイキング (黒松内町) インタビュー/黒松内町観光協会事務局長 本間ガイド PSA10
- かき小屋 (寿都町) PSA10

視聴者の声 :

「今すぐ味噌汁が飲みたくなった」「北海道の更なる探索に感銘を受けました」「北海道に行くのが待ちきれない」「お寿司が好き」「素敵！」等

Day2 Virtual Japan Adventure (バーチャル・ジャポン・アドベンチャー)

(4)-2 VIRTUAL ADVENTURE #4:

DAISETSUZAN NATIONAL PARK 大雪山国立公園

(JST 9/22 (水) 01:30 -02:00 / PST 9/21 (火) 08:30 -09:00)

PSA9 : 大雪山周遊 ~ガイド付き登山ツアー(宝島旅行社 / 十勝・上川)

PSA15 : 大雪山国立公園唯一の自然湖「然別湖カヤック&トレッキング」(日本旅行北海道 / 十勝)

収録地 :

- 大雪山国立公園(旭岳)-ハイキング (東川町) インタビュー/TREE LIFE 荒田ガイド(知事認定アウトドアガイド・夏山・冬山) PSA9
- 然別湖-カヤック (鹿追町) インタビュー/北海道ネイチャーセンター 代表坂本ガイド(北海道アウトドアガイド資格制度業務センター 代表) PSA15
- 白雲山-ハイキング (上士幌町) インタビュー/北海道ネイチャーセンター 島田ガイド(知事認定アウトドア・自然・カヌー) PSA15
- 然別ネイチャーセンター-エアトリップ (鹿追町) PSA15
- ヤンベツ川-リバーウォッチ (鹿追町) PSA15
- 大雪山国立公園(高原沼)-ハイキング (上川町) インタビュー/TREE LIFE 荒田ガイド(知事認定アウトドアガイド・夏山・冬山) PSA9
- 中村屋-温泉 (上士幌町) PSA9
- かんの温泉-温泉 (鹿追町) PSA9
- 野湯鹿の湯-温泉 (鹿追町) PSA9
- 嵐山-ハイキング (鷹栖町) PSA9

視聴者の声 :

「大雪山国立公園で、以前バックカントリースキーで素晴らしい体験をしました」「良いですね！ストーリーをチェックします！」「最も美しい大地。この映像には全てがある！素晴らしい仕事！」「素晴らしい！ここに行って国立公園でハイキングすることが楽しみ」等

Day2 Keynote (基調講演)

(5) KEYNOTE: CHADO: THE WAY OF TEA 基調講演 「茶道」

(JST 9/20 (水) 02:00 -03:00 / PST 9/19 (火) 09:00 -10:00)

茶道の歴史を含む基本的な知識を学び、茶人である羽根石美香さんの茶道実演と、それぞれの所作の説明がされた。

- 日本では古くから四季を大切に、喜びと調和をもたらす自然に感謝の気持ちを表してきた。しかし都会の生活が発達するにつれ、私たちは近視眼的になり、私たちを取り巻く自然をもほとんど忘れてしまった。
- 茶道は、減速し、自然との繋がり、目の前の小さいけれど重要な事柄に気付く方法を教えてくれる精神修養。茶道は400年以上前に日本で生まれ、基本的な様式や形を変えずに今に伝わっている。
- 禅と抹茶は栄西によって日本に伝えられ、茶道の本質は禅の哲学に由来しており、16世紀に千利休によって現在の茶道の様式が完成し、多くの侍が彼の下で茶道を学んだ。戦の中で生き残らなくてはならなかった侍たちは、茶室で雑然とした心をやわらげ、自然の中の素朴な生活に感謝することを思い出していた。
- 茶事とは上級者により非常に複雑な手順で行われる、懐石のフルコースを含む4時間の集まりであるが、茶会はお茶を立てる部分だけを抜粋した、誰でもその本質を楽しめる簡素な儀式。
- 茶道では、先人たちが確立した特定の手順と規則を学ぶ必要があり、その手順と動きは機能的で効率的、かつ美しい流れのようにエレガント。
- 茶道では、ホストとゲストの両方がそれぞれの役割を担い、協力して茶会を成功へ導く。また茶道を実践することで、自尊心、集中力、規律、心の平安を育むことができる。



講師 : Mika "SOKA" Haneishi: Founder Shizu-kokoro Chado School

羽根石宗佳 静心茶道スクール

茶道歴25年。松本素生氏に師事し、日本とアメリカで多くの賞を受賞。世界最大級の茶道学校である裏千家茶道研究所の第一級指導員であり、日本の生徒を対象に初級から上級までのクラスを担当。

また、東京・浅草に「しずこころ茶道教室」を開設し、日本文化のユニークな要素である茶道を、ワークショップやセミナーを通じて世界中の人々に紹介している。

Day3 Keynote (基調講演)

(1) KEYNOTE: PASSIONATE PEOPLE -HEARTS IN THE ICE

基調講演 「情熱的な人々ー氷の中のハート」

(JST 9/22 (水) 23:00 -24:00 / PST 9/22 (水) 07:00 -07:15)

ATWSのテーマである「共生」について、極地の状況から考察し、ノルウェーの北極圏で過ごした2年間で学んだことを講演。

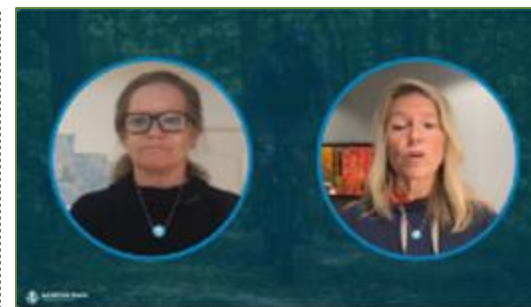
- 「共生」とは、人種、宗教、文化に関係なく、共存し未来に向かってともに進んでいくことを意味する。一人一人がリーダーの意識をもって行動しないことが問題。
- 2019年9月、“Hearts in the Ice”プロジェクトをスタート。目標は、私たち二人が数十年に及ぶ南極で体験した変化を、世界に人々に伝えること。これはただのアドベンチャーではなく、3つの目的を持つプロジェクト。
 - ① 若者に気候変動への関心を持ってもらうこと
 - ② 気候変動について絶望を感じている人々を行動に促すこと
 - ③ 気候変動についての研究者や活動家へのデータ提供などによる協力をを行うこと
- この完全に隔離された状態での生活、また過酷な環境での生活については、NASAの研究対象ともなった。
- 私たち一人一人がリーダーとなる必要があり、誰でも「CEO」になることができる。私たちはこの「CEO」という言葉を再定義した。“Climate Engagement Officers”（気候貢献責任者）のことを、CEOと呼びたいと思う。
- みなさんに伝えたい3つのこと：
 - ① 本質的価値観を変えないこと。私たちの本質的価値は「勇気」と「オーセンティックであること」。
 - ② 見本を示してリードすること。私たちは18か月の間、自発的にシチズン・サイエンティストとなった。私たちは、人々に「消費者」ではなく「市民」であってほしいと思っており、2年間、洋服を購入せず、今はウールか自然素材のもののみを身につけている。衣類業界は石油工業の大きな割合を占め、CO2の排出の10%を占めると言われており、北極では、流れ着くプラスチックごみが野生動物に影響を与えている。
 - ③ ファクトの共有とデータの理解。私たちは環境問題という大きな話題に触れるときは、エビデンスを集めた上で、どう行動するのかを判断する。
- 地球は危機的状況を迎えている。政治的視点や国境など関係ない。愛するものを守るために、私たち一人一人がシチズン・サイエンティストになりましょう。

講師

Hilde Falun Strom : Project Co-Leader at Hearts in the Ice

Sunniva Sorby : Project Co-Leader at Hearts in the Ice

旅行業界のグローバルリーダーとして、優れた旅行体験の提供という領域をはるかに超えて、消費者に影響を与えている。ポーラーアンバサダーである市民科学者の二人は、ビジョンと目標を掲げ、学生、科学者、メーカー、環境保護団体など、地球の健康を考えるすべての人々が気候変動について話し合えるような、社会貢献のためのプラットフォームを作ることを目指している。



Day3 Round Table (グループ討論会)

(2) Round Table グループ討論会

(JST 9/24 (木) 00:00 -01:00 / PST 9/24 (木) 08:00 -09:00)

○ BUSINESS RESILIENCE THROUGH COLLABORATION 「コラボレーションによるビジネスの回復力」

ファシリテーター :

Tullia Caballero Augi | Director at S-CAPE TRAVEL (AT旅行会社)

Monica Malpezzi Price | Co-Owner at Cycle Europe

「コラボレーションによるビジネス・レジリエンス」に焦点を当て、「Active Italy」の取組を中心に、地域ビジネスネットワークをどう構築するか、どのような問題があるか等について意見交換が行われた。

○ COMMUNITY TOURISM「コミュニティツーリズム」

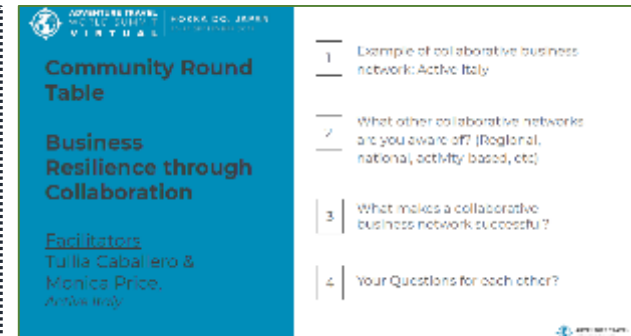
ファシリテーター : Evie Ndhlovu | Program Manager EMEA at Planeterra
(ジンバブエ出身で、コミュニティ開発と先住民族の観光に取り組む)

観光市場の垣根を取り払い、十分なサービスを受けていないコミュニティに、人生を変えるような有意義な方法で働きかけていくかについて討論が行われた。

○ VACCINES AND COVID-SAFE TRAVEL 「ワクチンとコロナー安全な旅行」

ファシリテーター : Paul Easto | Founder at The Wilderness Group
(ウィルダネスグループ設立者)

このセッションでは、「ワクチンとCOVID-安全な旅行」に焦点を当て、世界中で予防接種へのアクセスが増加している中、健康と安全に関する旅行の考慮事項や規制に対してどのような準備をしているのか、旅行者を守るために何をすべきか、について討論が行われた。



Day3 Round Table (グループ討論会)

(2) Round Table グループ討論会

(JST 9/24 (木) 00:00 -01:00 / PST 9/24 (木) 08:00 -09:00)

○ BUSINESS RESILIENCE THROUGH COLLABORATION 「コラボレーションによるビジネスの回復力」

ファシリテーター :

Tullia Caballero Augi | Director at S-CAPE TRAVEL (AT旅行会社)

Monica Malpezzi Price | Co-Owner at Cycle Europe

【Active Italyについて】

- 2002年2月下旬、イタリアはパンデミックに襲われた最初の国となり、そして私たち自身やサプライヤー、ガイド、その他全てをどう守ることができるのかを話し合った。その後これを推進してATTAのイタリア版『Active Italy』を設立した。
- これは売上の50%以上をATが占めているツアーオペレーターや旅行代理店を対象としたビジネスネットワークで、BtoB、BtoCいずれのケースもあり、国内旅行はもちろんアウトバウンドを販売している会社など16社からスタートし、現在は約30社が参加。ネットワークにより広い範囲をカバーすることができている。
- ATと持続可能な旅行について専門家のネットワークを構築し、可能な限り知識を共有するという目標で私たちは結びついている。
- イタリアはレジャー志向が強く、ATはまだそれほど認知されていないが、このネットワークにより、統計やメディア、その他ATに関する知識が乏しい機関に対し、情報を提供することもできる。
- ATの人気は高まってきているものの、イタリアでは従来自転車や遠足、ハイキングはそれぞれの協会が会員を連れて行くもので、ツアーオペレーターにお金を払うものとは見なされていない。このため、公的制度の導入やコミュニケーションの一元化によりアクティブ旅行の品質を向上させ、専門ガイドの地位を高めることを目標のひとつにしている。
- ATに参加したい宿泊施設や小規模なオペレーター向けにワークショップやトレーニングを提供したり、イタリア最大の全国ガイド協会である「イタリア自然ガイド協会」と3年間の契約を結んで合同トレーニングやワークショップに取り組むなどしている。
- Active Italyは非営利事業としてスタートしたが、商品を販売する際に協働すべきか、あるいは情報共有や質問ができる純粋なグループであるべきかという点で、意見の衝突があった。現時点では共同のポータルサイトやカタログを持たないという結論に至っているが、商談会にはグループとして参加しており、この課題については考え続けなくてはならない。
- 持続可能性という観点において、Active Italyに参加する企業をどう選ぶかというのも興味深い問題。モーターサイクルやヘリコプター、四輪バギーは持続可能性の対極にあると強く主張する人もおり、私たちは何度もミーティングを開き、参加を許可するという同意を得たが、ネットワークに参加した以上、こういった会社はこのような商品をウェブサイトで宣伝することはできなくなった。しかしながら同時にそうしたことを要求するクライアントに対してより持続可能で類似のアクティビティがあることを知らせ、意識の向上を図っている。

Day3 Round Table (グループ討論会)

(2) Round Table グループ討論会

(JST 9/24 (木) 00:00 -01:00 / PST 9/24 (木) 08:00 -09:00)

○ BUSINESS RESILIENCE THROUGH COLLABORATION

「コラボレーションによるビジネスの回復力」

- また、全てのメンバーに対し第三機関による持続可能性の認証取得を求める意見もあったが、現時点では認証取得を必須とせず、代わりにグループが定めた持続可能性の取り組みを実践することを強く推奨している。
- グループを作ることによって公的資金にアクセスしやすくなるのは、他の国でもあり得ることだと思う。しかしイタリアでは多くの人たちが自分で所有したいと考えるため、似たようなグループや組織、ネットワークが存在し、協力して何かを始めるのが非常に難しくなっている。
- 数か月前に一度だけ、イタリア観光局とATを広く指揮できる機構を作ることについて話し合ったが、すでに自転車旅行の同様の機構がいくつか存在し、競い合っていることがわかった。全員が寄り添うことは難題ではあるが、実現可能なこと。
- 地域のオペレーターと協働を始めたメンバーがいる。彼らはお互いに信頼し、メンバーは地域のオペレーターがクライアントを横取りせず、自分たちと同じレベルとクオリティを持つことを知った。多くのバイアスは互いの理解不足や、相手が思想や物の見方において同じレベルであると信じていることができないことで生じるため、人々を知り、信じれば、顧客を彼らに任せることができる。
- イタリアでは、全国ホテル協会と政府が協力して新型コロナウイルスに関する規制を作った。また、Active Italy内にはスポーツのためのさまざまな規制に取り組むチームがあり、それをメンバー全員に広めた。メンバーにはさまざまな他の国籍の企業と協力するオペレーターも多いため、様々な例を取り入れ、精査し、最も私たち自身に適した事例を作ることができた。
- 1か月後にイタリア最大の旅行商談会が開催され、私たちはそこで、国内最大の旅行代理店のネットワークに対し、どうすればATのオペレーターが旅行代理店と働けるのかについて話をするようになっていく。私たちの商品はニッチで、イタリア人の伝統的なマス・ツーリズムには適さない。また、メンバーの多くが海外のエージェントとのみ仕事をしている。私たちにはどのように共同で商品を販売するかという課題があるが、ATは私たちがナビゲートする面白くてニッチな商品。

【その他意見】

- 過去12カ月間、複数の事業者団体が集まり共に行動するのを見た。複数の発信方法を持つメディアたちがさまざまなレベルで協働し、政府に対して様々な角度からロビー活動を行っていた。現在の危機の中で彼らは互いに集まり助け合い、回復するためのあらゆる機会を必死に探しています。これは現在の悲惨な状況の中における、とても心温まる希望の光です。これを継続するにはオープンな対話が重要です。お互いの出来事に関与し、情報を共有することが重要だと思う。
- 旅行代理店は遥かに閉鎖的だが、彼らも昨年変わった。私たちは同じ船に乗っている。業界が恩恵を感じる緊密さがあれば、この関係は続くと思う。



Day3 MediaConnect (メディアとのビジネス交流会)

(3) MediaConnect メディアとのビジネス交流会

- ① JST 9/23 (木) 00:00 -01:00 / PST 9/22 (水) 08:00 -10:00
- ② JST 9/23 (木) 17:00 -19:00 / PST 9/23 (木) 01:00 -03:00

オフィシャルメディアデレゲートと1対1で交流する機会。このメディアデレゲートは、国際的な旅行ジャーナリスト、編集者、インフルエンサー、ブロガーなど、印象的で多様なメンバーで構成されている。バーチャル・マーケットプレイスと同様に、1対1のミーティングを通じてメディアに売り込む機会を得ることができた。

Day3 Virtual Japan Adventure (バーチャル・ジャポン・アドベンチャー)

(4)-1 VIRTUAL ADVENTURE #5: AKAN MASHU NATIONAL PARK & BEYOND 阿寒摩周国立公園とその周辺

(JST 9/23 (木) 01:00 -01:30 / PST 9/22 (木) 09:00 -09:30)

PSA2 : ザ ワイルドフライフィッシング イン イースト北海道(JTB / 釧路・根室)

PSA3 : マチネシリトレッキング・ワイルドサイクリング(JTB / 釧路・十勝)

PSA8 : 阿寒摩周国立公園ボルケーノ・トレイル(宝島旅行社/ 釧路・十勝)

収録地 :

- つつじが原自然探勝路-トレッキング (弟子屈町) PSA8
- 摩周湖-ハイキング (弟子屈町) PSA3
- 雌阿寒岳-トレッキング (釧路市) PSA8
- 錦沼-ハイキング (足寄町) PSA8
- 白藤の滝-ハイキング (足寄町) インタビュー/阿寒観光協会まちづくり推進機構 笹崎ガイドPSA8
- 阿寒川-フライフィッシング (釧路市) インタビュー/SIRI 高田ガイドPSA2
- 阿寒湖アイヌコタン (釧路市) ※PSA外
- しあわせチーズ工房 (足寄町) PSA8
- アニマルトレイル-トレッキング (斜里町) インタビュー/SHINRA 畑谷ガイドPSA2

視聴者の声 :

「これらのビデオは本当に素晴らしい。以前はそれほど日本に行きたいという気持ちはなかったが、今はすっかり自分の行きたい場所の上位になった。素晴らしい。そしてATWSをホストしてくれてありがとう」「私は高田さんとのフライフィッシングの経験があり、そのとき釣れた魚は私が釣った魚の中で長らく最大だった。素晴らしい」等

Day3 Virtual Japan Adventure (バーチャル・ジャポン・アドベンチャー)

(4)-2 VIRTUAL ADVENTURE #6: SOUTH & CENTRAL HOKKAIDO 道南、道央

(JST 9/23 (木) 01:30 -02:00 / PST 9/22 (木) 09:30 -10:00)

PSA4 : UNESCO Global Geoparkアポイ岳登山と日高の歴史・文化(JTB / 日高)

PSA5 : 富良野岳と鶴川源流ラフティングツアー(JTB / 日高・上川)

札幌市プロモーション

収録地 :

- 札幌市内飲食店、大通公園、中島公園、藻岩山、頭大仏等 (札幌市)
- 鶴川源流-サイクリング (占冠村) PSA5
- 鶴川・赤岩青巖峡-ラフティング (占冠村) インタビュー/NPO法人 占冠・村づくり観光協会 細谷ガイドPSA5
- イザベラバードフットパス-ハイキング (平取町) PSA4
- 二風谷工芸館-木彫り体験 (平取町) インタビュー/北の工房つとむ 貝澤氏PSA4
- アポイ岳ジオパークビジターセンター (様似町) PSA4
- マタギキャンプ (平取町) インタビュー/門別ガイドPSA4

視聴者の声 :

「札幌は美しい」「ここにある食べものに心打たれました」「(ビール)」「いつか北海道に行く計画を立てる。札幌にも行きたい」等

Day3 Keynote (基調講演)

(5) KEYNOTE: ON THE ROAD OF CONSERVATION 基調講演「保全への道」

(JST 9/23 (木) 02:00 -02:30 / PST 9/22 (水) 10:00 -10:30)



「ルート・オブ・パークス」は、チリのパタゴニアにある17の国立公園と2,800万エーカーの土地を保護するためのビジョンで、この風光明媚なルートは、60以上の周辺コミュニティが保護の恩恵を受けるための経済的な原動力であり、アマゾン盆地に次いで、南米で最も炭素蓄積率の高い地域のひとつとなっている。この基調講演では、「Route of Parks」沿いのコミュニティとのパートナーシップの中で、持続可能性を重視していることを話した。

・私たちが国立公園の造成に関わった約25年間、チリの地域コミュニティを知り、そして、地域コミュニティ、自然保護区、陸、海のすべてを繋ぎ合わせることで、個々のストーリーが100倍もパワフルになることに気づいた。約2,700キロメートルに沿って存在するこれら個々の本質的な魅力を、私たち造成側が完全に理解できているとは思わないが、今では「全体としての美しさ」とこのアイデアは、様々なところで模倣されている。

- 世界の陸と海の自然保護活動の成功は、近隣地域のコミュニティに与えられる直接的な利益と深く結びついている。宝石ともいえるこのエリアは、ただ単純に彼らの近隣地域というだけではなくテリトリーであり、自然保護区である可能性がある。
- 地域コミュニティの重要性と、彼らの近隣の自然保護区を区分けする方法はなく、いずれも長期的目線で保存されていくべき。この信念が、ATTAとすべての観光事業者の目標となるべく、積極的に広めていくべきだと考える。
- 観光事業者が信念をもった具体的な活動をし、地域を一貫して積極的に支援する方法を見つけることこそが、非常に重要であると言えるため、一人一人が考えて実行する必要がある。
- 私たちは普段の生活から「活動家」であり、私生活はオプションだと考えている。私の友人でありメンターであるPatagoniaの創業者のYvon Chouinardの言葉に、「私たちは、問題の一部であるか、解決策の一部である」というものがある。
- 過去16か月、観光事業者は仕事を失ったが、この期間は、私たちが慣れ親しんだ経営方針やスタイルを深い視点から変えるために与えられた時間であったと信じている。
- 人類が地球の中心ではなく、むしろ全体の一部でしかない。このことは西洋諸国でのパンデミック、火事、内戦などの発生からもうかがえる。

講演

Kristine Tompkins : President Tompkins Conservation & Co-Founder Rewilding Chile at Tompkins Conservation & Rewilding Chile

3年間のベネズエラ滞在を除いて、南カリフォルニアの牧場で生まれ育つ。アイダホ州の大学を卒業し、スキーレースで活躍した後、当時のパタゴニア・インクに入社。CEOとしての20年間、パタゴニアを「反共同体運動/反企業活動 (anti-corporation)」として有名にし、アウトドア・アパレル業界のリーダーとなることに貢献した。1993年パタゴニアを退職し、南チリに移住。2000年、チリとアルゼンチンの最南端に位置するパタゴニアに国立公園を設立するため、Conservacion Patagonica (コンセルバオン・パタゴニカ) を設立。

Day3 Film Screening (映画上映)

(6) FILM SCREENING: FOOD, EARTH, HAPPINESS

映画上映：食、地球、幸福

(JST 9/23 (木) 02:30 -03:00 / PST 9/22 (水) 10:30 -11:00)

このドキュメンタリー映画の要約版は、環境問題に関する代表的な著書「一本のわらの革命」の著者である福岡正信氏の作品にインスパイアされたもので、瞑想的な風景、多彩なオリジナル・サウンドトラック、そして世界の自然農業運動の第一人者たちによる刺激的なストーリーを織り交ぜています。食、環境保護、そして幸福についての古くからの考えを、現代に蘇らせている。



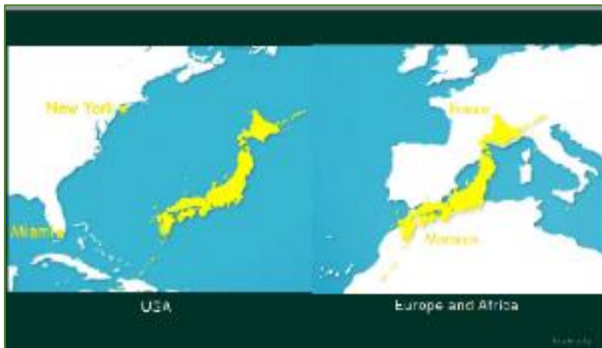
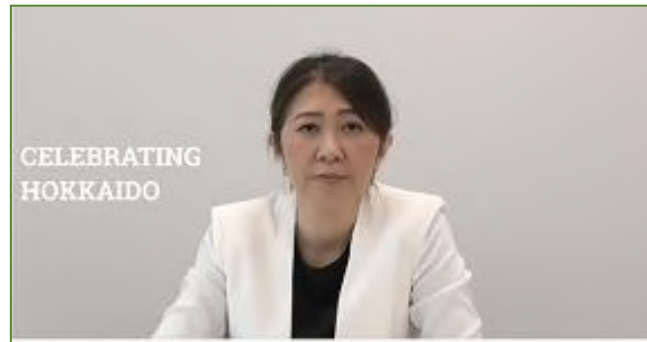
Day4 Keynote (基調講演)

(1) KEYNOTE : CELEBRATING HOKKAIDO 基調講演「セブレイティング北海道」

(JST 9/22 (水) 23:00 -23:45 / PST 9/22 (水) 07:00 -07:45)

① 日本政府観光局 (JNTO) によるプレゼンテーション

- 動画による日本紹介 (1分)
- JNTO Enjoy My Japan動画 (30秒)
- JNTO吉田理事長代理プレゼンテーション (5分30秒)
- 北海道運輸局VJ動画 (1分)



Day4 Keynote (基調講演)

② 秋辺日出男氏*による講演 (20分)

* (阿寒アイヌ工芸協同組合専務理事)

視聴者の声:

- 「あなたの知識を共有してくれてありがとう」
- 「美しい。まるで今日本を訪れているみたい」
- 「英知」
- 「この映像から火と木の匂いがするようです」
- 「他人のやり方を尊重するということがおそらく共生なのだろう」等



③ 北海道知事メッセージ動画 (20分)



Day4 Keynote (基調講演)

② 秋辺日出男氏による講演 全文

(01:47-3:07)

俺は本当に阿寒湖に生まれてよかったなあと思うんだけど。1960年に生まれた。

阿寒湖で生まれて、ずっとここで暮らしているけど。

そうだなあ、友達と親父やアイヌコタンのみんながやっている歌や踊り見ながら育て、いつの間にか62歳になって、アイヌが好きで好きで。

野山を駆け回って湖で泳いで。丸木舟を作って、それに乗って遊んで。

今じゃそれを、海外の人、日本中の人に、この森や湖と一緒に遊んで。

それがなんだかガイドだとか、SDGsに繋がるとか言っているんだけど。

俺としてはな、ガキの頃に遊んだことの延長線で、今じゃそれが生活の糧になっている。面白いもんだな。

(03:21-04:51)

俺は幼い頃から、アイヌの歌や踊り聞いて、18からか、古式舞踊っていう伝統の舞踊を踊るようになって。

いじめや差別もあったけど、それを跳ね返したのは、先輩の踊り、ばあちゃんの歌。

それに合わせて生活を作ったっていったら、いつの間にか、アイヌ文化だというのがよくわかった。

それがなかったらどうなったかな。きっと都会かどっかに抜けて、不良になったか。

それとも野垂れ死んだか。アイヌというものを一生懸命やってなかったら、今こうなってないなあ。

この面白いアイヌの文化、踊り、歌、アイヌ語、アイヌの心。

そういったものが、今なんだか21世紀になってみんなの役に立つらしい。先住民の生き方って、なんか現代人に必要なんだと。

俺はよくわからんけど、使えるならみんな使え、って。

だから、紹介するのが面白くてやってる。まだまだこれからだ。

(05:28-06:20)

久しぶりの森だなあ。昔はここでよく遊んだっけな。

最近よく自然保護っていうけど、俺たちアイヌは自然に守られているからな。

守るんでない、守られてんだ、俺たち。ああ、いい木だ。凍裂だなこれ。

(06:28-06:43)

手にはなにもないよ、あなたの心を掬って私にくださいという所作。

美しいでしょ？どんな人類でも挨拶っていうのは本当に、美しいものなんだ。

(06:54-07:40)

18からアイヌの踊りを覚えて、みんなの前で踊って嬉しかったんだけど。アイヌ文化だって言われて。

山の付き合い方、川を大事にする、そういうのがなんだか、今、世界で必要な知恵なんだってな。

俺はなんも知らないで先輩の言うこと、先祖の教えのとおりやろうとして生きてきたけど、なんだか今それが役に立つんだって。

まあ、よくわからんけど。使えるんなら、アイヌの文化みんな使え。俺はそう思う。

Day4 Keynote (基調講演)

(08:22-09:39)

俺たちアイヌは自然があるから生きてけるっていうんだけど、本当にこの木があるから助かる。
木一本、二本切ったら下草が枯れて、風が吹けば土ぼこりになって、大雨降ったら土砂崩れになるから。
先祖はよく言った、「木が大地を守ってるんだぞ」って、教えてくれた。
そのとおりで、木いっぱい切ったら、この世の中の土全部流れて、人間の暮らしまで流してしまう。
木があるから、人間が生きていける。
川があるから、木が育つ。
木があるから、虫が生きていける。
虫がいれば、草木も元気になる。
みんなお互い様で生きてるんだ。
俺達アイヌもこいつらと一緒に、お互い様って、言えるように生きたいもんだな。

(10:32-12:58)

共生と、とよく言うけど、まあ、正直よくわからん。
ただ、俺たちが作る道具、それから大切に使っている車でも何でも、大事にしていると、もともと魂のあるものだから、長く使っていると、カムイになるよな。
カムイになればなるほど、人間と一緒に働いて。
おたまでも、しゃもじでも、鍋でも、そういうものと仲良く暮らしていると、なるほど、共生ってそういうことか、
どんなものでも粗末にできない。
熱いおつゆ汲む時に、お玉1つなかったら、その汁を飲むこともできない。
だから、お玉1つどんなに大事なものかというのは、最近みんな忘れてるよな。
道具にも、川にも、山にも全部魂とたくさんのカムイがいるから、そいつらと仲良くする、そういうカムイと仲良くするのが、きっと共生っていうんだらう。
人間同士の共生も必要だよな。
民族を超えて、人種を超えて、宗教も超えて仲良くする、お互い尊重する。
熊の生き方も尊重する。害虫と呼ばれる虫たちの生き方も尊重する。
だから、人間同士お互い仲良く生き方を認め合うというのが、おそらく共生っていうんだ。
信じるものが違うから認めないというのは、どうも俺には性が合わなくて。
お前はお前の信じるものを大事にせえ、それは邪魔しない。
俺が知ってるカムイは俺が大事にする。
そうやって生きるんだな。共生ってそんなもんだべ。

Day4 Keynote (基調講演)

(13:26-16:13)

アイヌってさ、実はどこから来たか、まだはっきりしないんだけど、この北海道を中心として、古い時代から居たというのは分かってる。木に囲まれて、海で魚を取って、オットセイ取って、シャチが追い立てた鯨を浜で獲って。すべて生、すべて自然の恵みで生きてきた。だから感謝もする、祈りもする。例えば、俺たちが踊る時には、祖先も一緒に来てるっていう。歌うときには神様も一緒に楽しんでいるんだって。だからアイヌはいつも自然界の神々に見られている。だから油断もできないし、人を騙すこともできないし、もちろん、カムイを欺くことはできない。だから正直に、真っ直ぐ生きるしか方法がなかった。先輩が言った言葉にこんなのがある。人は騙せてもカムイ、神は騙せない。そのとおりだ。アイヌ民族っていうのは正直、そういう生き方を、カムイに囲まれて生きてきた。そういうもんだ、というふうに言われている。おそらく、世界中の先住民族の生き方がそれに近いものがある。それがいつの間にやら、都市文明、進化、機械文明、お金。そういったもんで、多くの人類は、生き方をちょっとずれたかな。だから、先住民の生き方をちょっとみんなで分け合って、日本においては、アイヌの生き方を分け合って。少し、こんな環境の中で、人類の生き方を、反省した方がいいんじゃないかな。それは俺も思う。

(17:20-18:26)

そうだな、これからはもうちょっと、カムイたち自然の都合も聞いて、その中で人間が育まれて生きてくつてことを、全人類みんな考え直して。この150年、少し生意気になった人間の生き方を、元に戻してみたらうまくいくようになるんじゃないかな。それが未来の共生ということになるかもしれない。俺はそういうふう信じている。そのヒントは、北海道、アイヌに会いに来ればいっぱいあるよって俺はいつもそう言ってる。先祖の言っていることが、これからの人類の役に立てばいいな。俺はその伝達役かもしれない。

Day4 Concurrent (分科会)

(2) Concurrent 分科会

(JST 9/24 (金) 00:00 -01:00 / PST 9/23 (木) 08:00 -09:00)

○ FROM SOURCE TO SELLING: THE COMMUNITY IMPACT OF OUTDOOR GEAR 「アウトドアギアがもたらす コミュニティへの影響」

ファシリテーター :

Calill Odqvist Jagusch | CEO at Light My Fire

Travis Merrigan | Co-Founder & Product Development at GRAYL

Martin Kossler | CEO at HuginBizR (Helping You Grow International Business)

Chris Doyle | Director of Marketing & Community Development at CMD Inspired

Kazuhiro Tomiyama | Assistant Manager, Marketing Department, Montbell Co., Ltd. at Montbell

ATコミュニティと同じように、持続可能性、社会的影響、自然保護などの価値観を掲げているアウトドア・ギアやアパレル・ブランドは、どのようにして「実践」し、ビジネスを成功させるために依存している地域経済やコミュニティに還元しているのか？世界のさまざまな場所での取り組みを、現場の声を交えて紹介した。

○ HIGH MOMENTS, LOW IMPACT: RETHINKING ADVENTURE TRAVEL'S SUSTAINABILITY EFFORTS 「アドベンチャートラベルの サステナビリティへの取組を再考する」

ファシリテーター :

Heather Kelly | Senior Manager, Research at ATTA

Samuel Wille | Head Strategic Partnership at Switzerland Tourism

DESTINERESHION、ツアーオペレーター、宿泊施設等から寄せられた統計データや実際のエビデンスを紹介。ATTAのリサーチ部門のシニアマネージャーが、気候変動対策の動向を調査し、持続可能なATの短期的、長期的な未来がどうなるのかという疑問に見解を示した。

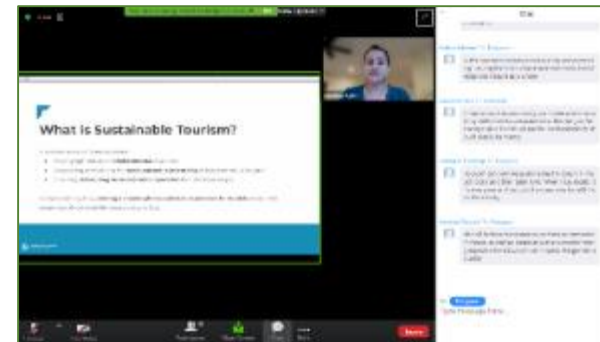
○ VALUES-DRIVEN BUSINESSES REACHING NEW AUDIENCES 「新たな顧客を獲得する価値観重視のビジネス」

ファシリテーター :

Nada Raphael, Joelle Sfeir, Muna Haddad, Annie Young, Mei Zhang, Christian Levy, Fuchsia Claire Sims,

Jonathan Coleman, Breanne Kiefner

自分たちの価値観に基づいて行動し、同時にビジネスを成功させている旅行ブランドについての洞察を得ることができる。財務上の意思決定からマーケティングやコミュニケーション戦略、意図的な雇用慣行、活動や包括性の維持など、若手からベテランまで、旅行業界のプロフェッショナルが強力な顧客コミュニティを構築している。製品やサービスに加えて、どのように価値観が優先されているのか、その過程で犠牲になるものがあるとしたら何か、効果的なコミュニケーションキャンペーン、そしてこれらの革新的な組織の現在の、そして新たなオーディエンスにとっての将来像について学んだ。



Day4 Concurrent (分科会)

(2) Concurrent 分科会

(JST 9/24 (金) 00:00 -01:00 / PST 9/23 (木) 08:00 -09:00)

○ FROM SOURCE TO SELLING: THE COMMUNITY IMPACT OF OUTDOOR GEAR 「アウトドアギアがもたらすコミュニティへの影響」

ファシリテーター：

Calill Odqvist Jagusch (CA) | CEO at Light My Fire

Travis Merrigan (TR) | Co-Founder & Product Development at GRAYL

Martin Kossler (MA) | CEO at HuginBizR (Helping You Grow International Business)

Chris Doyle (CH) | Director of Marketing & Community Development at CMD Inspired

Kazuhiro Tomiyama (KA) | Assistant Manager, Marketing Department, Montbell Co., Ltd. at Montbell



- (CH) 旅行業界関係者がギアを利用する際にすべきことは、メーカーにインタビューし、証拠を与え、そのブランドに自信を持ってもらい信頼すること。旅行会社とメーカーの信頼が失われたら、顧客が死んでしまいます。だからメーカーを調査し、彼らの目的と自分の目的が一致していることを理解する必要があります。
- (CA) ガソリン由来のプラスチックの代わりに炭素を吸収して中性にする植物からバージンプラスチックを作ること、またリサイクルで製造することを決めた。そして使えなくなるまで貸し出すことにより、製品の完全なループをコントロールすることができる。そのためリサイクルするにはどんなプラスチックであるかを知る必要があるので、生産を管理するため、とても物価は高いが会社のあるスウェーデンで製品を生産することにした。
- (CA) これまで学んだことで最も重要なことは怖がらないこと。残りの70%は何かという質問に自信を持って答えられるまでに5年かかったが、0%よりは30%の方が優れている。
- (TR) バクテリアやウィルスが入った汚い水を押し下げると綺麗で安全な水が得られる浄水器を製造しており、旅行中のプラスチック廃棄物減少に貢献している。また、税引き後のキャッシュフローの1%を地球のためにAdventure Travel Conservation Foundに贈与することを決めた。
- (KA) 1975年8月に設立され、7つの基本理念の一つに地域経済を刺激すると掲げており、自然環境とスポーツイベントに関するシンポジウムを開催することで、地域社会の活性化にも取り組んでいる。
- (CA) 時代を超越したデザインを持たせること、使いたいと思わせること、そして耐久性を持たせることは非常に重要。生分解性プラスチックはガソリン由来なのでリサイクルできるから堆肥化は必要なく、リサイクルの方が堆肥化よりも優れている。生分解性であるかを考える前に、物を捨てるのをやめるべきでは？
- (MA) つまり必要としない限り買わないこと。旅行会社がギアメーカーに影響を与える本当の挑戦は、ビジネスモデルを販売からレンタルまたは共有にシフトすること。既に取り組んでいる会社もあり、持続可能な新しいビジネスモデルの道ではないか。

Day4 Concurrent (分科会)

(2) Concurrent 分科会

(JST 9/24 (金) 00:00 -01:00 / PST 9/23 (木) 08:00 -09:00)

○ HIGH MOMENTS, LOW IMPACT: RETHINKING ADVENTURE TRAVEL'S SUSTAINABILITY EFFORTS

「アドベンチャートラベルの サステナビリティへの取組を再考する」

ファシリテーター :

Heather Kelly (HE) | Senior Manager, Research at ATTA

Samuel Wille (SA) | Head Strategic Partnership at Switzerland Tourism

- (HE) Covid-19は、将来のアドベンチャートラベルをより持続可能なものにするために、私たちがどのような変化を加える事ができるかを考える機会となった。観光受入地が、その経済活動が全ての利害関係者に利益をもたらす事を約束し、環境負荷を最小限に押さえる責任を負い、地域の文化的価値の維持に取り組む。そのようなコミュニティは活性化される。
- (HE) Covid-19の期間中、消費者の注目が変化した。Covid-19以前は、消費者は環境の脅威についてほとんど心配していなかったが、現在は気候変動への関心が高くなっている。持続可能な観光にとって、観光客が戻ってきたときに、我々が所属しているコミュニティ=ディスティネーションについて考えるための、心構えができつつあると言える。
- (SA) スイスのユースホステルのすべての建物は、幅広い人々が利用できるように設計されています。ターゲットである家族、若者、予算の少ないグループだけではなく、バリアフリートラベルを望むグループにも適しています。彼らの環境への取り組みは社会的側面、環境的側面の3つの側面全てのバランスを示していると思います。
- (HE) アドベンチャートラベル業界の最大の懸念は、気候変動が第一位、第二位に野生生物の保護、第三にコミュニティの生計、生息地の回復、観光の緩和と恒久的な土地の保全です。
- (SA) Swisstainableプログラムの基本的な構造は持続可能性に向けてツーリズムビジネスが今どの位置にいるのかランク付けすること。認証の多くはホテルまたはレストランに限定されていますが、輸送からホテル、食までの全ての観光バリューチェーンに対して設計されており、包括的なバリューチェーンを持つことが重要。ゴールは旅行者にオリエンテーションを提供することで、より持続的な選択ができるようなれば。
- (HE) コミュニティが前進する為に私達が出来る事は、需要アプローチつまり消費者のマーケティングと教育を通じて、また供給アプローチを通じて、旅行者の行動の変化を促進することに取り組むことができる。そして今すぐ何かを始めること。大きな事をする必要はありません、小さい事で良いのです。



Day4 Concurrent (分科会)

(2) Concurrent 分科会

(JST 9/24 (金) 00:00 -01:00 / PST 9/23 (木) 08:00 -09:00)

○ VALUES-DRIVEN BUSINESSES REACHING NEW AUDIENCES 「新たな顧客を獲得する価値観重視のビジネス」

ファシリテーター：

Nada Raphael | Co-founder at Tourleb

Joelle Sfeir | Co-founder at Tourleb

Muna Haddad (MU) | Founding CEO, BARAKA President at APSTO

Annie Young | President at APSTO

Mei Zhang (ME) | Founder & Chair Lady at WildChina

Christian Levy (CR) | CEO & Co-founder at Amity Tours

Fuchsia Claire Sims (FU) | ADVENTURE JUNKY

Jonathan Coleman | Co-CEO, Untours at Foundation

Breanne Kiefner | Founder/Owner at Root Adventures

Alice Gifford (AL) | ATTA

- (MU) 私たちは、私たちの価値観をゲストに伝えることを熱望しています。私たちはゲストに、妥協のない品質で、威厳を持って働く私たちの真のパートナーに会い、素晴らしい体験をしてほしいと思っています。ゲストが私たちのパートナーに平等なプラットフォームでアプローチをし、彼らの物語に敬意を払い、お互いに何か交換し合える余地を与えることを確かなものにしたいのです。
- (ME) WildChinaは、顧客だけでなく双方にとって「人生を変える体験」を造るという、ひとつの使命によって導かれています。私たちのスタッフたちは、毎日オフィスに来る動機について「少しでも余分な仕事をする事で、誰かの生活を少し良くすること」だと教えてくれました。このミッションを遂行するため、私たちはACED (Authentic (本物)、Curious (好奇心)、Extraordinary (並外れていること)、diverse (多様性)) という4つのコアバリューを手引きとしています。
- (CR) 私は父と「責任ある旅行 (Responsible Travel)」が進むべき唯一の道であるとの信念を持って18年前に設立されたチリのオペレーターです。それには困難は伴いましたが、私たちは正しい選択をしたと思っています。Amityは友情を意味し、責任ある観光とフレンドリーな会社が私たちのコアバリューです。それを伝える方法は冒険、人、自然の3つの要素で、これらは同時に今日のコアバリューにもなっています。
- (FU) 私たちのコアバリューは持続可能性、気候変動の改善、イノベーション、教育、そして重要なのがコラボレーションです。これらのコアバリューをコミュニティに伝える方法として楽しくて教育的なゲームを作りました。その要素にはアクティビティの種類だけでなく、地元で買ったものか、生物多様性が、地元の人が運営しているかなど、持続可能性に関するものも含まれ少しずつユーザーを教育しています。それに加えて、すべてのアドベンチャーにスコアを付けました。点数が高ければ高いほど、そのアクティビティは訪問した地域の人や地球にとって持続可能性が高くなります。
- (AL) 価値観主導のビジネスリーダーである彼らから学ぶことを楽しんでくれましたか？ きっとあなたは刺激を受け、あなた自身の価値観をそれぞれの、そしてすべての決断に取り入れ実行することで、ビジネスを次のレベルに引き上げ、地域の人々と自然をリスペクトする顧客を惹きつけていくと思います。

Day4 Virtual Japan Adventure (バーチャル・ジャポン・アドベンチャー)

(3)-1 VIRTUAL ADVENTURE #7: MAINLAND JAPAN & MT. FUJI 本州と富士山

(JST 9/23 (木) 01:30 -02:00 / PST 9/22 (木) 09:30 -10:00)

T-01 : 東北の東西食の巡礼 : 歩く・食べる・出会う旅 ((株)JTB 仙台支店 / 東北)

N-01 : 江戸時代へ続く道 ~中山道と信仰の道~ 長野編 (奥ジャパン(株) / 長野)

C-02 : 静岡アドベンチャー ~日本のシンボルを肌で感じる旅~ ((株)キャニオンズ/ 静岡)

収録地 :

- 中山道トレイル-トレッキング (岐阜県中津川市) N-01
- 木曾谷-トレッキング (長野県木曾町) N-01
- 滝行 (長野県木曾町) N-01
- 戸隠古道トレイル-トレッキング (長野県長野市) N-01
- 宮坂醸造 (長野県諏訪市) N-01
- 出羽三山 : 羽黒山-ハイキング (山形県鶴岡市) インタビュー/大進坊宿坊 早坂ガイド T-01
- 出羽三山 : 月山-ハイキングT-01 (山形県鶴岡市)
- おくのほそ道大刀伐峠-トレッキング (山形県尾花沢市) T-01
- 肘折温泉 (山形県大蔵村) T-01
- 鳴子温泉郷 (宮城県大崎市) T-01
- 最上川-川下り (山形県戸沢村) インタビュー/最上川芭蕉ライン観光 山科ガイドT-01
- みちのく潮風トレイル-トレッキング (宮城県気仙沼市) T-01
- 男山本店 (宮城県気仙沼市) T-01
- 源兵衛川-リバーウォーク (静岡県三島市) C-02
- 修善寺 (静岡県伊豆市) C-02
- わさび収穫体験 (静岡県河津町) C-02
- 河津七滝 (静岡県河津町) C-02
- MTBツアー/シーカヤックフィッシング インタビュー/山伏トレイルツアー (静岡県) 松本代表 C-02
- エコキャンプ インタビュー/EN-YA ECO CAMP (静岡県富士宮市) 新谷代表 C-02
- 富士錦酒造 (静岡県富士宮市) C-02
- 村山浅間神社 (静岡県富士宮市) C-02

視聴者の声 :

「このアドベンチャーはどんどん良くなっていきます」「このビデオをお客さまと共有して良いですか？素晴らしいので！」「長野での時間がとても気に入っていました。魔法のような場所です。」「美しい目的地」等

Day4 Virtual Japan Adventure (バーチャル・ジャポン・アドベンチャー)

(3)-2 VIRTUAL ADVENTURE #8: NORTHERN HOKKAIDO 道北

(JST 9/24 (金) 01:30 -02:00 / PST 9/23 (木) 09:30 -10:00)

PSA1 : 日本最北の地を目指して 上川・宗谷 カヌーとサイクリング(ANAX / 上川・宗谷)

PSA11 : 女性による女性のためのSDGs文化交流体験～下川・西興部・滝上～(宝島旅行社 / オホーツク・上川)

PSA14 : 日本最北シーカヤックアドベンチャー ～ガイド付きツアー(宝島旅行社 / 宗谷)

収録地 :

- ・ 名寄川-リバーウォーク (下川町) インタビュー/しもかわ観光協会 園部ガイド PSA1
- ・ フプの森-精油づくり体験 (下川町) PSA11
- ・ 鹿革レザークラフト体験 (西興部町) PSA11
- ・ 井上牧場 (滝上町) インタビュー/フレイジャーガイド PSA11
- ・ 川村カ子トアイヌ記念館 (旭川市) インタビュー/川村副館長 PSA1
- ・ 天塩川-カヌー (美深町) PSA1
- ・ オロロンライン-サイクリング (豊富町、稚内市) インタビュー/サイクリングフロンティア北海道
- ・ 石塚ガイド PSA1
- ・ 礼文島桃岩トレイル-ハイキング (礼文町) PSA14
- ・ 利尻島-サイクリング (利尻町) PSA14
- ・ 利尻島-シーカヤックフィッシング (利尻町) インタビュー/まるぜん観光 渡辺ガイド PSA14

視聴者の声 :

「とても美しい!」「私にはこれが必要!」等

Day4 Keynote (基調講演)

(4) KEYNOTE: SURVIVAL 基調講演「サバイバル」

(JST 9/24 (金) 02:00 -03:00 / PST 9/23 (木) 10:00 -11:00)

Shannon Stowell | CEO at ATTA

最後の全体会議では、ATTAのCEOであるシャノン・ストーウェルが仮想ステージに登場し、「オフ・ザ・グリッド」生活から学んだこと、業界の将来の状態を予測するミクロおよびマクロ指標について考察し、観光産業の復活における新たな変曲点に近づき、ホリスティックなビジネス、人間、そして地球環境を考える上でのコミュニティへの希望を語った。

- ATTAストーウェルCEOによるスピーチのほか、これからのリアルイベントの紹介 (Adventure Elevate) 2023年ATWSの開催地内定の発表があった。
- 最後に来年度ATWS2022開催地であるスイス政府観光局のCEOからのスイスのプレゼンテーションが行われた。



Day4 Keynote (基調講演)

KEYNOTE: SURVIVAL Shannon Stowell | CEO at ATTA 全文

まず、ATWS北海道に向けてここ数年懸命に努力してくれた日本と北海道のチームに深い感謝の意を表します。私たちのチームが昨年行ったたゆまぬ努力に感謝したいと思います。

パンデミックは、世界中の多くの人々、特に旅行業界の多くの人々にとって、感情的な逆境をもたらしました。今日の私の講演のタイトルは「Survival」です。そして、このパンデミックの間の私のこと共有したいと思います。私たちのチームは同僚をCOVID-19によって失いました。このパンデミックでは、友人や家族の人命の損失に匹敵するものではありません。妻と私は、経済的に持続可能ではないと判断し、ワシントン州の家を売りました。そして、コロラド州の山の中の700平方フィート（約65平方メートル）の小さなオフグリッドキャビンに移動しました。電力も流水もありません。山の村と呼べる場所に住んでいるのは他に7人だけ。コロラドの厳しい冬の間、標高約3000メートルで9か月を過ごすことになりました。

ATTAにとっても、試行錯誤をしつつも何も行うことができませんでした。そして旅行は人間同士のビジネスです。私たちはお互いを知り、お互いを信頼して仕事をしなければなりません。ATTAでは、私たちが最も必要としている瞬間に銀行が私たちを破綻させたため、私たちの危機はさらに深刻になり続けました。そして、私たちは何をすべきかを考えるのに非常に怖い時間を過ごしました。皆さんと同じように、私たちはすべての難しい決断、すべての削減、すべての変更を行いました。そして、皆さんと同じように、それは信じられないほどの苦痛でした。

ですから、今年のATWSのテーマは、自然と調和していると解釈される日本のコンセプトである「共生」です。きっと参加者の皆さんの共感を呼んでいると思います。

妻と私は、山に滞在しているときに、ほぼ毎日「共生」を体感するようになりました。人間は助けが必要です。そして、私たちは私たちが思っているよりもはるかに少ない資源で暮らすことができます。それがまさに本質であり、私たちが学んだ教訓でした。自然との調和というコンセプトは、感じの良いコンディションになることもあります。それはコインの片面だけです。自然は残忍なものになる可能性もあります。私たちは、人間として私たちよりも大きな何かがあると認識し、私たちが持っているものを大切にすべきです。適応を受け入れ、生き残り、最終的には繁栄したいのであれば、他人との共生が必要となります。

9ヶ月間その小屋に住んでいたのはどんな感じだったかについて少しお話しします。平均的なアメリカ人は1日あたり約85ガロンの水を使用しますが、使用量を約8ガロンに減らしました。これは、世界の一部の場所ではまだ豊富なほうです。私たちは朝食時に朝に1杯のジュースグラスを共有するような習慣を身に付けました。これによって、洗うグラスが1杯分少なくなり、苦勞して見つけなければならない水が1杯分少なくなりました。だから自然との調和が重要なのです。輝かしい部分は、ほぼ毎日雪と乾燥した天候でハイキングし、多くの野生動物を見ました。足が以前よりずっと遠くまで行けるようになるまでハイキングをしました。私たちは無音の中で星空や雪の夜を見ました。自然に近い生活から学んだことは、それは困難であると同時に美しいことでもあるということです。自然との調和は時々、人間にとっては服従のように見えます。

数ヶ月後、私は腱鞘炎を発症したり、大晦日に凍った湖に落ちて、約6か月間足を引きずったりしました。雪の中を運転しているときに事故を起こし、命の危険にさらされる中、なんとかレッカーサービスに救われたこともありました。それ以外にも失敗やけがをしましたが、私たちは敗北したわけではない。失敗を乗り越えるべきです。

他の誰かとつながると、生きる力が湧き上がるのを感じることができます。すべてが再び可能であるように見えます。私たちは一人ではありませんでした。私たちが救う人は私たち自身でしかない。だから、お互いに助け合う必要があります。それは私たち全員が世界的なコミュニティ、ATのコミュニティとして存在するこの状況です。

夏には町に戻り、仕事が忙しくなったことでいろいろなことが生き返り始めました。今でも妻と私はあの山への深い愛情を持ち続け、自然が信じられないほど感動的で特別であると認識しています。

Day4 Keynote (基調講演)

この500日以上、すべての人、特に旅行業界は深いストレスを感じています。そして、私はあなたに直接の友人や家族を超えて、それはまた、生命を維持するもの、心の支えのための巨大な力であったのがこのコミュニティであったと言えます。私たちは正しいことを意識する冒険旅行の専門家のこのコミュニティで、私たちができることを続けたいと思いました。ATは必ず戻ってきます。力強く戻ってきます。すでに私たちのコミュニティのいたるところで、人々がより思慮深く再構築するためのステップについて話しているのがわかります。到着だけでなく、経済的影響を測定するためのより良い方法を見つけましょう。持続可能性、気候変動対策、包括性に関するイニシアチブが景観に点在しています。非常に厳しい経済環境にもかかわらず、未来は勢いを増しています。

私たちの多くは、母なる自然の人間と消費に関する最近の教訓に注意を払っていると思います。しかし、旅行中の多くの人がパンデミックから重要で明白な教訓を学ばなかっただけでなく、大量の旅行が再び地球に戻ってきたとき、それらを保つことができないように感じます。つまり、私たちは人間としてより責任ある態度をとることができるでしょうか？復讐するような旅行でいいのでしょうか、本当に？COVID-19が私たちにもたらした現実から目を背けることができるでしょうか？これがあなたが重要な理由です。これが私たちがコミュニティとして重要である理由です。

ツアーオペレーター、ジャーナリスト、目的地の担当者、旅行のスペシャリスト、宿泊施設、プロのコンテンツクリエイターなど、世界はあなたとあなたの役割を必要としています。業界の誰もがより良く戻ってくるための鍵です。世界は持続可能なATを必要としています。あなたが今日苦勞しているなら、このビジネスにとどまるかどうかを決定するならば、その場で踏ん張ってください。このコミュニティは私たち全員を必要とし、喪失を認め、未知のものを受け入れ、失敗し、最初は不安定になる可能性が必ずあると思いますが、その後、人々、あなたのインスピレーションを刺激する人々、この場に戻りたいというあなたの願望とつながります。たしかに、ATの回復と残りの旅行の間のギャップは現実のものになるでしょう。しかし、これは私たちにとって良いことです。そのギャップを可能な限り適切で責任ある旅行体験、マーケティング、ストーリーテリングで埋めるときです。旅行に関する物語に影響を与え始めることができます。それは私たちの権利ではなく特権であり、体験を提供して教える必要があります。旅行者はそれがどのように行われるべきかを知る必要があります。

また、多くの新規参加者がATの可能性をテストしています。その結果、非常に興味深い傾向が複数の目的地から明らかになりました。まったく新しい種類の顧客が現れていると聞いています。彼らは次のような場所に流行を持っています。彼らはキャンプ場やロッジに来ており、必ずしもラフティング、登山、サファリを予約しているわけではありません。彼らは古典的なアドベンチャートラベラーとは異なる要求を持っています。しかし、彼らは明らかにここに課題があることを示しています。

しかし、それは私たちが人々をクルーズ、モール、カジノからATに変える機会でもあります。これらの旅行者と実際に会話して、より良い変化をもたらすにはどうすればよいでしょうか。私が見た中で最高のニュースの1つは世界銀行からのものであり、冒険旅行、自然ベースの旅行、エコツーリズムを示すレポートを発表したWTTCは、COVID-19以前のレベルと比較した旅行の回復のための最も重要なセクターとなるでしょう。

そのすぐ後ろには、国内観光、ウェルネス、スパ、文化観光がありました。これは私たちにとって良い前兆ですよね？私たちは、私たちのセクターが旅行の世界にとってどれほど重要であり、良心であり、それを正しく行うための旗手であるかを常に知っていました。しかし今、それは世界の機関によって公然と認められています。私の友達、そこにぶら下がって、私たちはあなたが未来を持っている未来を持っています。私たちは皆、私たちがエコシステムであり、全員がテーブルにいる必要があることを切望しています。

あなたは一番下にいますか？脆弱になり、助けを求めている？大丈夫ですか？手を差し伸べて、他の誰かを助けてください。私たちはお互いを必要としています。ブラジルポルトガル語の用語を呼び出したいと思います。これも英語への明確な翻訳はありませんが、本質的には深い憂鬱であり、あなたが恋しい人を切望しています。ですから、私自身から、そして私たちのチームからも話したいと思います。「saudades, saudades」またお会いしましょう。

Day4 Keynote (基調講演)

(5) Closing: クロージング

(JST 9/24 (金) 02:00 -03:00 / PST 9/23 (木) 10:00 -11:00)

講演者 :

Shannon Stowell | CEO at ATTA

Casey Hanisko | President at ATTA



● Ms. CASEY HANISKO /

ATWS Virtualを実現してくれたすべてのパートナー、特に日本に感謝します。この新しいスタイルのイベントに多大な労力を費やしているチームと、毎日参加してくれた皆さんは、それがどれほど有意義であったかを本当に知っています。私たちは皆、直接一緒にいたいと思っています。PCの前はもうごりごり！次のイベントは、アリゾナ州セドナで11月にライブを実施。まだ登録が可能なのでぜひ参加を。

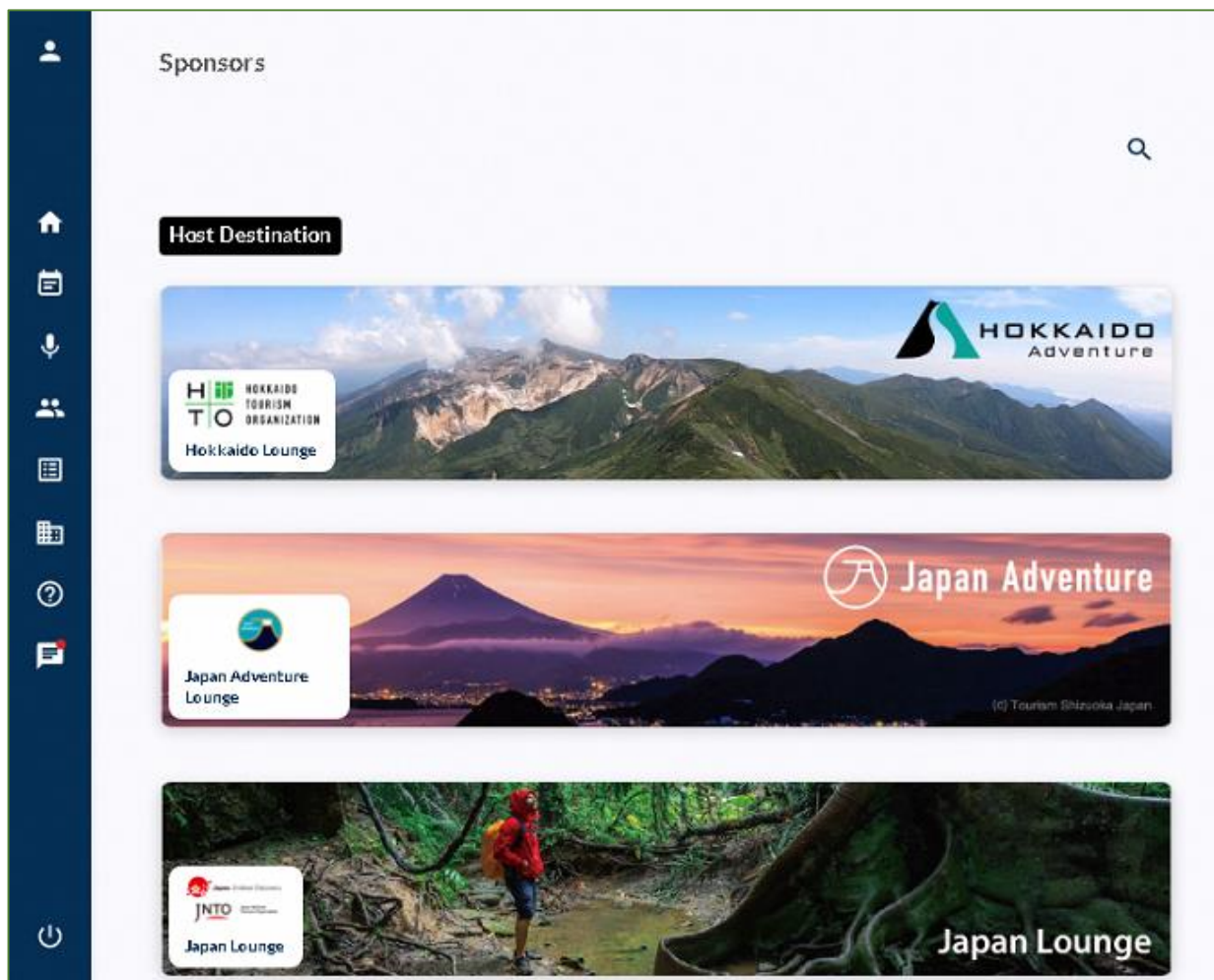
2023年の2年後にはリアルで、北海道で開催します。全国各地でアドベンチャーが繰り広げられ、イベント前に体験する機会があります。(2023年北海道開催が内定)

● Mr. SHANNON STOWELL / 2022年はスイスでの開催。スイスの観光業には持続可能性がある。来年はみんなでこれについても議論をしたい。今年バーチャルだったが、来年はリアルで開催します。

● スイス政府観光局の紹介ムービー

Day1-4 Sponsors (スポンサーページ)

以下のとおり、ATWSのEventtiaプラットフォーム上のスポンサー枠でホストディスティネーションとして、「Hokkaido Lounge (北海道ラウンジ)」、「Japan Adventure Lounge (ジャパンアドベンチャーラウンジ)」、「Japan Lounge (日本ラウンジ)」においてPRを行った。



Day1-4 Hokkaido Lounge (北海道ラウンジ)

1 掲載コンテンツ

	事業者名	Stand Hotspot	Sponsor activities	Video	Products
1	(株) 北海道宝島旅行社	–	–	2	2
2	(株) JTB	–	–	–	1
3	ANAX (株)	–	–	–	2
4	(株) 日本旅行北海道	–	1	–	2
5	(株) 近畿日本ツーリスト北海道	–	–	1	3
6	(株) ジャルパック	–	–	–	2
7	阿寒アドベンチャーツーリズム (株) *	2	1	4	6
8	東武トップツアーズ (株)	–	–	–	3
9	(株) ニセコリゾート観光協会	–	–	2	1
10	札幌市	1	2	1	1
11	(株) エゾシカ旅行社	–	1	–	2
12	大雪山ツアーズ (株)	–	2	2	2
13	(一社) なかとんべつ観光まちづくりビューロー	–	–	–	1
14	(公社) 北海道観光振興機構	4	–	6	–
	合 計	7	7	18	28

* 阿寒アドベンチャーツーリズム (株) にはN P O法人阿寒観光協会まちづくり推進機構/ (一社) 釧路観光コンベンション協会分を含む

Day1-4 Hokkaido Lounge (北海道ラウンジ)

2 Stand Hotspot掲載コンテンツ

City of Sapporo/札幌市



Nature Summer/自然 夏



Ainu Culture/アイヌ文化



Nature Guide/
ネイチャーガイド



Nature Winter/自然 冬



Hot Springs/温泉



Jomon Hokkaido/
縄文北海道



Day1-4 Hokkaido Lounge (北海道ラウンジ)

3 Videos/ビデオ (例)

4 Marketplace/商品紹介 (例)

Otaru Anataki Trekking Tour

USD 420

Trisking to Otaru's unexplored region "Anataki", the lesser-known waterfall "Anataki" has not been visited by local Otaru people. A local outdoor guide will guide you together. There is a small waterfall in the back of the half-open cave. In spring, the waterfall is more than 2 meters wide due to the melted snow, and you can easily reach the back of it...[Read more](#)

[Purchase](#)

Discover the Life with Volcanoes-Walking & Cycling

USD 4,000

In this 3-day tour, we will step into the Toyura-Utsu UNESCO Global Geopark and Karomatsunai town to get an idea of how to live in harmony with volcanoes. Our journey starts with Upopoy National Ainu Museum and Park. A visit to Upopoy offers us a glimpse of the traditional ways of the Ainu culture and the lives in harmony with nature. The next destination...[Read more](#)

[Purchase](#)

The First Land of Cultural Exchange

USD 3,500

Hakodate is one of Japan's first trading ports opened to the world after abolishing the Japanese isolation policy in 1854. In this four-day tour, we will see and feel how the first breeze of the western culture brought to Hokkaido by intersecting with the locals and nature. Our journey starts from Mt. Hakodate while looking down at historic buildings...[Read more](#)

[Purchase](#)

Day1-4 Hokkaido Lounge (北海道ラウンジ)

5 ラウンジ訪問者のアクセスデータ

(1) 北海道ラウンジ訪問者数：112名

	1日目ライブ	1日目再放送	2日目ライブ	2日目再放送	3日目ライブ	3日目再放送	4日目ライブ	4日目再放送
訪問者数	61	11	12	6	6	10	4	2

※参加者がATWS期間中最初にアクセスした日を集計（実人数）

(2) 北海道ラウンジ訪問者業種別内訳

業 種	人 数
観光協会・DMO	29
ツアーオペレーター（インバウンド）	25
主催者	14
メディア	12
ツアーオペレーター（アウトバウンド）	7
その他	25
合 計	112

Day1-4 Japan Adventure Lounge (ジャパオンアドベンチャーラウンジ)

1 掲載コンテンツ

	事業者名	Description	Stand Hotspot	Sponsor activities	Video	Products
1	(株) 北海道宝島旅行社	1	1	0	3	3
2	(株) インアウトバウンド仙台・松島	1	1	1	3	5
3	THE J TEAM (株)	1	—	—	—	—
4	コドー合同会社	1	1	2	1	3
5	四国ツアーズ (株)	1	1	2	3	5
6	(株) SMO南小国	1	1	0	1	3
7	(株) ジャンボツアーズ	1	1	0	0	3
合計		7	6	5	11	22

Day1-4 Japan Adventure Lounge (ジャパントアドベンチャーラウンジ)

2 Stand Hotspot掲載コンテンツ

Jumbo Tours/ (株) ジャンボツアーズ



KODO Travel/コード合同会社



Shikoku/四国ツアーズ (株)



Hokkaido/ (株) 北海道宝島旅行社



Aso area/ (株) SMO南小国

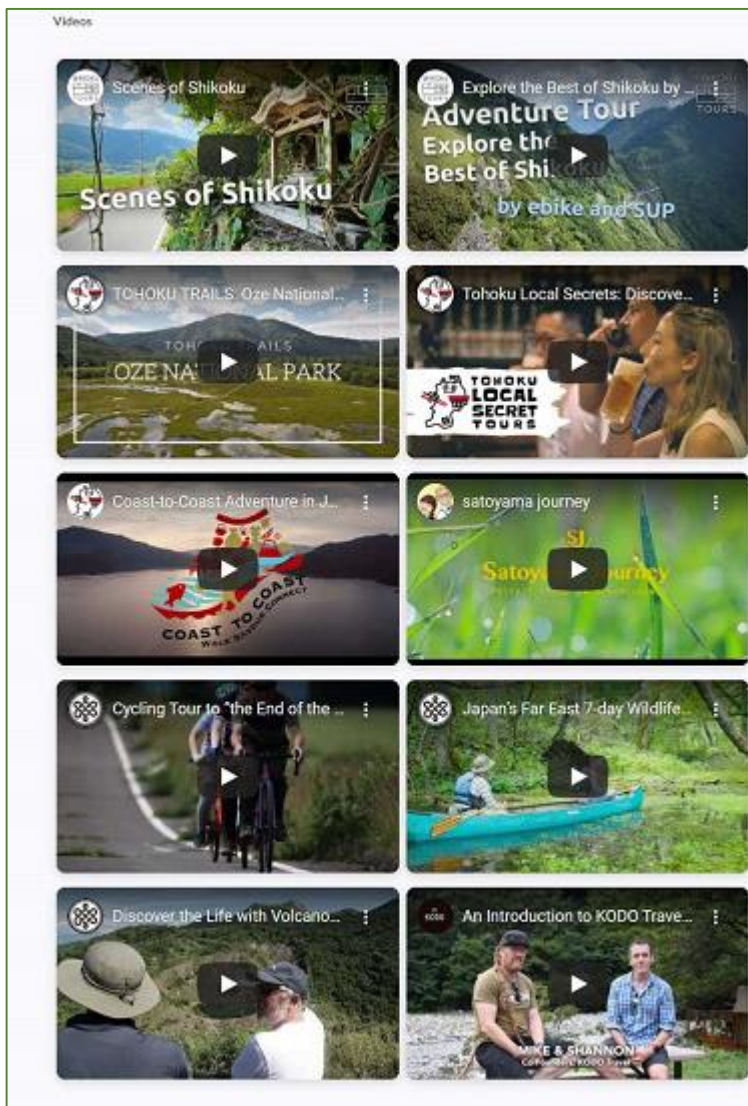


Tohoku Trails/ (株) インアウトバウト 仙台・松島

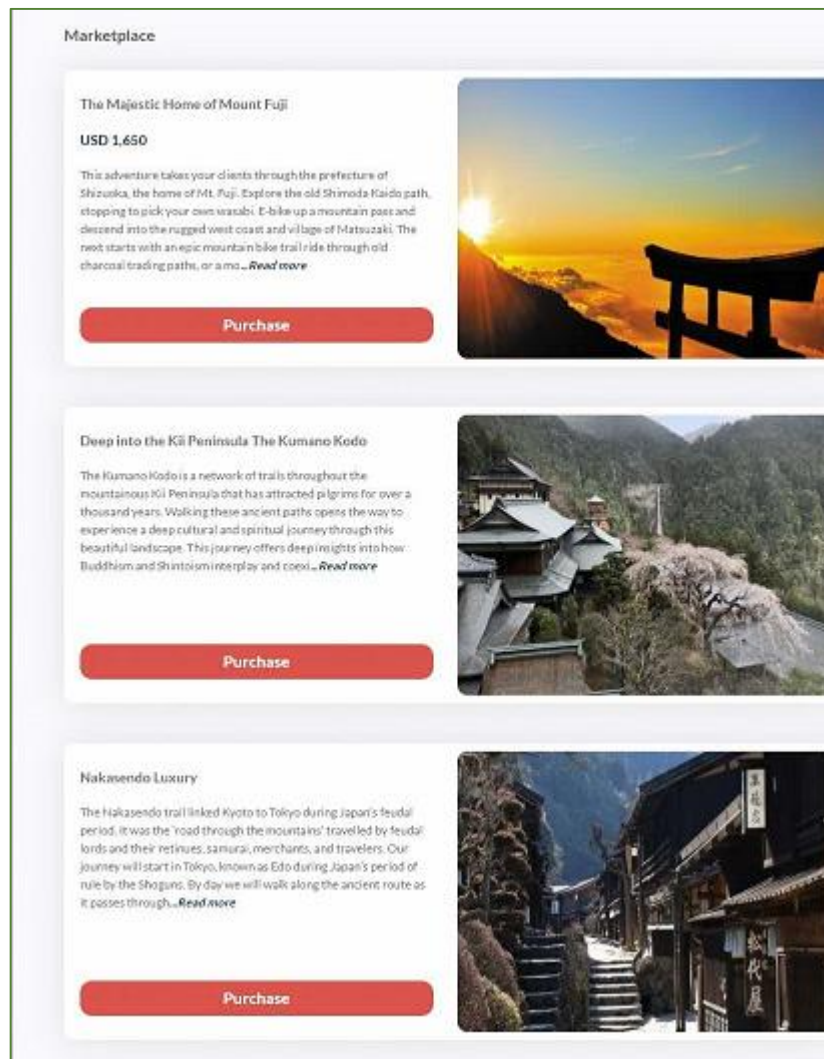


Day1-4 Japan Adventure Lounge (ジャパノンアドベンチャーラウンジ)

3 Videos/ビデオ (例)



4 Marketplace/商品紹介 (例)



Day1-4 Japan Adventure Lounge (ジャパオンアドベンチャーラウンジ)

5 ラウンジ訪問者のアクセスデータ

(1) Japan Adventureラウンジ訪問者数：101名

	1日目ライブ	1日目再放送	2日目ライブ	2日目再放送	3日目ライブ	3日目再放送	4日目ライブ	4日目再放送
訪問者数	60	8	7	7	3	7	4	5

※参加者がATWS期間中最初にアクセスした日を集計（実人数）

(2) Japan Adventureラウンジ訪問者業種別内訳

業 種	人 数
観光協会・DMO	30
ツアーオペレーター（インバウンド）	27
主催者	8
メディア	8
ツアーオペレーター（アウトバウンド）	6
その他	22
合 計	101

Day1-4 Japan Lounge (日本ラウンジ)

1 掲載コンテンツ

	事業者名	Stand Hotspot	Sponsor activities	Video	Products	Files
1	(一社) 東北観光推進機構	1	1	2	3	1
2	(一社) 長野県観光機構	1	–	2	5	–
3	(一社) 中央日本総合観光機構	1	2	2	5	–
4	(一社) 四国ツーリズム創造機構	1	2	2	5	–
5	(一社) 九州観光推進機構	1	2	2	4	6
6	環境省	1	2	2	–	2
7	日本政府観光局 (JNTO)	–	–	2	–	–
合計		6	9	14	22	9

Day1-4 Japan Lounge (日本ラウンジ)

2 Stand Hotspot掲載コンテンツ

Kyushu/KTPO
九州観光推進機構



Central Japan
中央日本総合観光機構



Shikoku
四国ツーリズム創造機構



Japan Alps
長野県観光機構



Visit Tohoku
東北観光推進機構

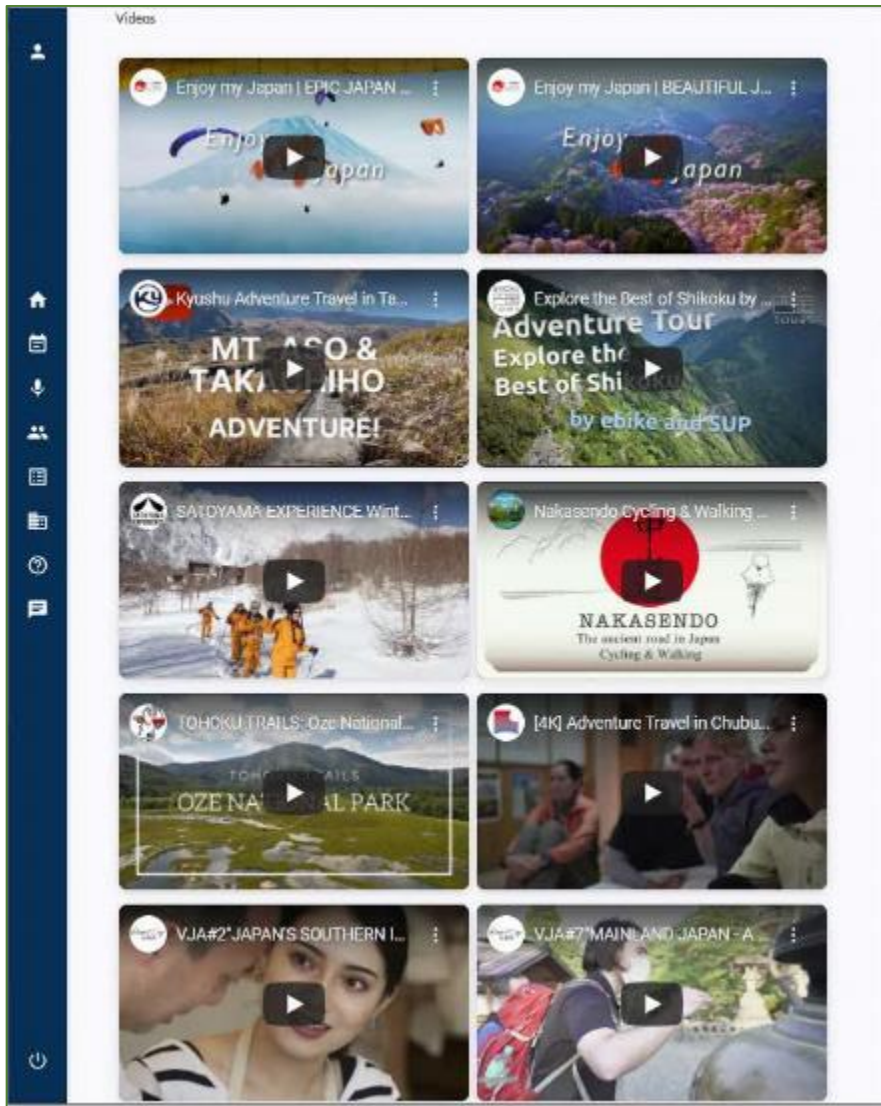


National Parks
環境省

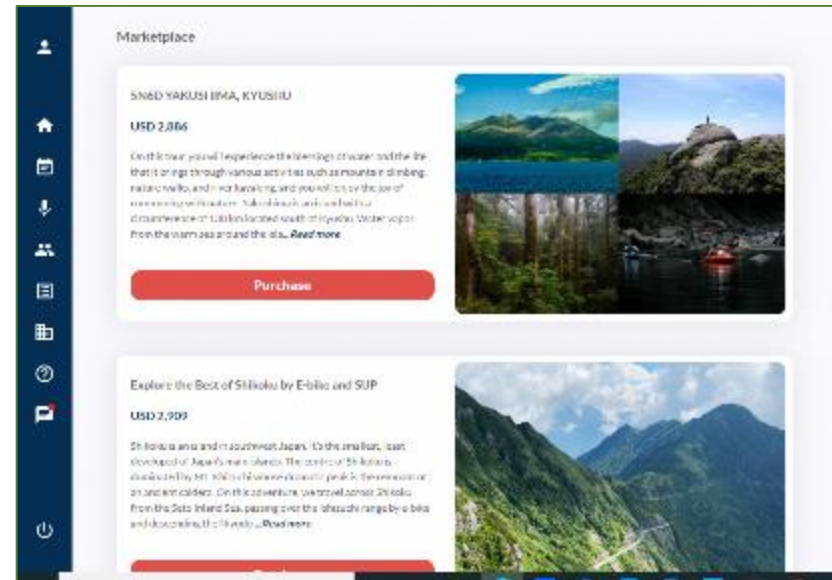


Day1-4 Japan Lounge (日本ラウンジ)

3 Videos/ビデオ (例)



4 Marketplace/商品紹介 (例)



Day1-4 Japan Lounge (日本ラウンジ)

5 ラウンジ訪問者のアクセスデータ

(1) 日本ラウンジ訪問者数：93名

	1日目ライブ	1日目再放送	2日目ライブ	2日目再放送	3日目ライブ	3日目再放送	4日目ライブ	4日目再放送
訪問者数	52	6	14	4	5	7	5	0

※参加者がATWS期間中最初にアクセスした日を集計（実人数）

(2) 日本ラウンジ訪問者業種別内訳

業 種	人 数
観光協会・DMO	27
ツアーオペレーター（インバウンド）	23
主催者	11
メディア	7
ツアーオペレーター（アウトバウンド）	3
その他	22
合 計	93

4. 記者公開及びHPについて

記者公開について

以下のとおりATWS VIRTUALの記者への公開を行った。

1. メディア公開概要

日時：2021年9月21日（火） 8:50-10:00

場所：「anker web studio」（アンカーウェブスタジオ）
札幌市中央区北1条西10丁目北1条山地ビル

目的：ATWS初日の再放送をメディア公開し、
記者にATWSを視聴してもらうことで報道につなげ、
ATWSの道民への認知度向上などを目的。

開催方法：オンライン配信される内容をモニターで視聴

2. 内容

① サミットウェルカム（15分）

- ・ ケイシー・ハニスコATTA会長挨拶
- ・ 国土交通大臣挨拶
- ・ 北海道知事挨拶
- ・ バーチャルジャパンアドベンチャーの紹介映像放映

② 基調講演（30分）

エリザベス・リンジー博士（演題：「私達の自然」）

③ その他

北海道をPRする特設コーナーなどの紹介

3. 参加メディア

北海道新聞社、読売新聞、時事通信社、北海道建設新聞社、苫小牧民報、十勝毎日新聞社、観光経済新聞、NHK、STV、テレビ北海道（TVh）、毎日新聞社



実行委員会HPについて

以下のとおり、日本側公式HPを整備。

1. URL

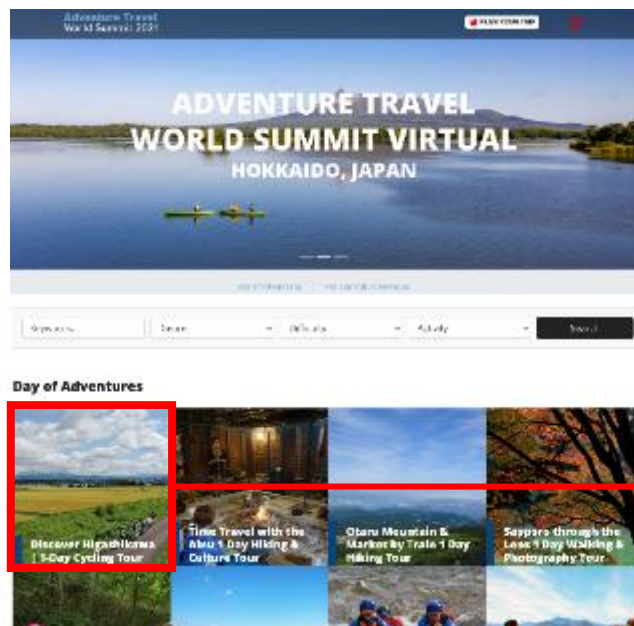
<https://best.visit-hokkaido.jp/atws2021/>

2. 内容

ATWS体験ツアー各コース詳細情報(アイテナリー、デジタルブローシャー・動画含む)を掲載した日本側のランディングページによるPR

3. 公開日

令和3年9月20日 (月)



5. ATWS VIRTUAL Hokkaido, JAPAN 総括

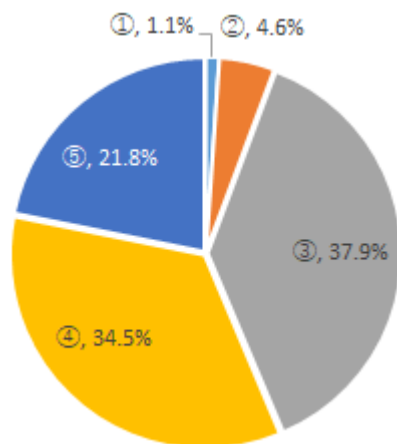
ATWS VIRTUAL Hokkaido, JAPAN 総括

ATTAからのコメント

- 北海道にはATWSバーチャルの成功の一翼を担っていただいた。
- バーチャル大会の経験を活かして2023の成功につなげていきたい。

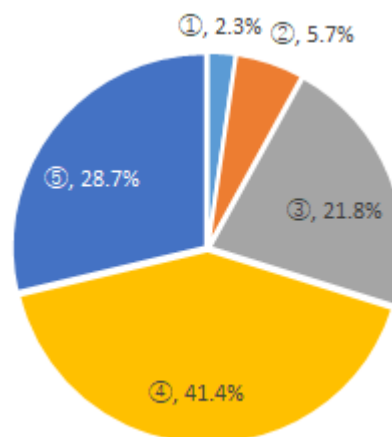
ATWSアンケート（5段階評価） ＊ ATTA調べ

(1) ATWSバーチャルでの全体的な評価



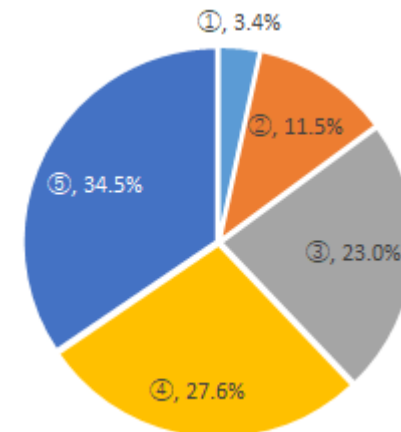
4以上の評価をした参加者が半数以上

(2) バーチャル・ジャパン・アドベンチャーの評価



4以上の評価をした参加者が7割

(3) 価格に見合った価値はあったか



4以上の評価をした参加者が6割

ATWS VIRTUAL Hokkaido, JAPAN 総括

サミットの成果

- 参加者に、“新しいATデスティネーションとしての北海道”をイメージづけることができた。（プログラム放映中のEventtiaへの書き込み等）
- 参加者からの放映した動画に対する高評価（参加者アンケート回答者の7割が5段階評価の4以上の評価）
- ATWS2023の内定発表（ATTAからの動画等に対する評価等）
- マーケットプレイス（北海道の参加者）期間中51回の商談実施
- サミット後の商談状況
 - ① 大会終了後、海外の事業社にアプローチした社数：65社
 - ② ①のうち回答のあった社数：18社

サミットにおける問題点と把握したニーズ

○ 問題点

- オンライン商談会のNo Show（無断欠席）やキャンセルが多かった。（バイヤーが他地域のミーティングを優先したこと、時差、オンラインの技術的問題などが理由）
- ラウンジやウェビナーへの誘客・誘導が難しく、商談などオンラインでのコミュニケーションには限界があった

予約数	キャンセル	No Show	商談数	実施率
139	29	59	51	36.7%

○ 把握したニーズ（オンライン商談会での意見）

- 欧米豪などのロングホール市場のバイヤーからは、せっかくなら2週間くらいのツアーを組みたいという声があった
- ソフトアクティビティのリクエストも多かった
- 他県も含めた商品造成ができるかと聞かれた

ATWS VIRTUAL Hokkaido, JAPAN 総括

- 欧米豪を中心に58か国から、旅行会社やメディア関係者、観光関係団体など、617名が参加
- サミットでは、参加者が北海道・日本のATコース等をバーチャルで体験
- 各種講演や分科会のほか、AT商品を手掛ける旅行会社同士のオンライン商談会（道内9事業者が計51回の商談を実施）や、参加者とメディアが情報交換を行うメディア交流会などが実施された



- 各種商談会ののち、商談成立に向けた交渉へとつなげることができた
- バーチャルサミットを通じて、北海道・日本のATの魅力を世界に発信
- 発信した映像については、主催者であるATTAをはじめ、参加者からも高い評価



ATWS2023の開催地が北海道に決定

6. ATWS2023成功に向けて

ATWS2021開催から得た課題について

ATWS2021に向けての準備及びATWS2021を含むこれまでのATWSにおけるATTA幹部や関係者との意見交換の場等において、以下の課題を得た

1. 機運の醸成・日本国内外における認知度の向上

日本国内におけるATの認知度向上、海外市場における『ATディスティネーション北海道・日本』の認知度向上

2. 質の高いガイド等の育成・確保

安全の確保やアクティビティに関する高い技術、文化・歴史に精通しながら顧客をトータルな面でサポートする能力を持つガイドの育成・確保

3. 高い顧客ニーズに対応した魅力あるコンテンツ・コースの設定

顧客ニーズに対応した全道各地及び日本全国での魅力あるツアーコースの設定

4. 商品販売体制の整備

商品の造成・販売主体であるツアーオペレータ、地域でのトータルな役割が期待される市町村等の体制整備

ATWS2023に向けた今後の取組について

1. 機運の醸成・日本国内外における認知度の向上

- ・北海道及び日本国内におけるATの認知度向上や市町村をはじめとする地域の理解促進、全道的な推進に向けた機運の醸成
- ・「ATディステーションとしての北海道及び日本」の国際的な認知度向上

2. 質の高いガイド等の育成・確保

- ・ATのアクティビティガイドに求められるアクティビティの技能の高さや、アクティビティガイド及びスルーガイド（ツアーリーダー）に求められる救急対応を含む安全の確保、地域の自然や文化の歴史に関する知識、地域の生態系への配慮を含むサステナビリティを考慮した対応、幅広くかつ質の高い役割を果たすことができるガイドの育成
- ・ガイドの外国語技能や顧客のニーズを汲んだ柔軟な対応などの能力向上
- ・ATに対応した「新しいガイド制度のあり方」について検討

3. 高い顧客ニーズに対応した魅力あるコンテンツ・コースの設定

- ・顧客ニーズを把握するためマーケティング強化（海外事業者を対象とした市場調査、有識者招請によるヒアリング(FAMトリップ)の実施等)
- ・顧客ニーズに応じた高品質な商品を以下の観点により造成
 - ① 期間：長期日程の商品（日本へ長距離旅行をする欧米市場におもな顧客層がいるため）
 - ② 季節：グリーン期＋冬季の商品（powder snowブランドを活用し、北海道の優位性を強調）
 - ③ 連携：道内のツアーオペレーターやガイド＋道外と連携した商品（①の長期商品の開発のため）
 - ④ 難易度：海外から要望のあるソフトアクティビティ対応した商品（身体的アクティビティ、自然・文化体験、いずれもあり）
 - ⑤ 構成要素：北海道ならではの要素（自然・歴史・文化）、地域産業の要素を持った商品

4. 商品販売体制の整備

- ・造成した商品を海外事業者販売するために必要なスキルの獲得・体制の整備について、以下の観点により事業者を支援
 - ① 販促体制とスキルの向上：販促ツール制作（映像、ウェブ等）、商談ノウハウ獲得（商談会、ATWS参加等）
 - ② 安全管理体制の整備：人材育成（野外救急救命(WAFA)、英語ガイドング、スルーガイド技能等の各種研修)
 - ③ 地域における事業者支援体制の整備：普及啓蒙（シンポジウム、人材育成研修等）

ATWS2023に向けた今後の取組について

1. 機運の醸成・日本国内外における認知度の向上
2. 質の高いガイド等の育成・確保
3. 高い顧客ニーズに対応した魅力あるコンテンツ・コースの設定
4. 商品販売体制の整備



本道及び日本観光の主要な柱の一つとして、
ATを積極的に取り組む

ATWS北海道実行委員会 構成員

委員

北海道、公益社団法人北海道観光振興機構、札幌市、釧路市

国土交通省北海道運輸局、経済産業省北海道経済産業局

北海道経済連合会、北海道経済同友会

一般社団法人北海道商工会議所連合会、北海道商工会連合会

北海道アドベンチャートラベル協議会、一般社団法人北海道体験観光推進協議会

日本航空株式会社、全日本空輸株式会社、株式会社AIRDO、北海道エアポート株式会社

北海道旅客鉄道株式会社、一般社団法人北海道バス協会

一般社団法人日本旅行業協会、一般社団法人全国旅行業協会

顧問

観光庁、独立行政法人国際観光振興機構（JNTO）、国土交通省北海道開発局

環境省北海道地方環境事務所、林野庁北海道森林管理局、国土交通省東京航空局